

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文の読み方の訓練		池田 孝一（いけだ こういち）	
ねらい	教科書を熟読することにより、英文の構成に慣れ、語彙力も身につけながら、各種の英文を辞書を引きながら読む力を養う。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 Lesson 1 - 1 第3回 Lesson 1 - 2 第4回 Lesson 2 - 1 第5回 Lesson 2 - 2 第6回 Lesson 3 - 1 第7回 Lesson 3 - 2 第8回 Lesson 4 - 1 第9回 Lesson 4 - 2 第10回 Lesson 5 - 1 第11回 Lesson 5 - 2 第12回 Lesson 7 - 1 第13回 Lesson 7 - 2 第14回 前期の復習 第15回 前期試験	【後期】 第1回 Lesson 8 - 1 第2回 Lesson 8 - 2 第3回 Lesson 9 - 1 第4回 Lesson 9 - 2 第5回 Lesson 10 - 1 第6回 Lesson 10 - 2 第7回 Lesson 14 - 1 第8回 Lesson 14 - 2 第9回 Lesson 16 - 1 第10回 Lesson 16 - 2 第11回 Lesson 17 - 1 第12回 Lesson 17 - 2 第13回 Lesson 18 - 1 第14回 Lesson 18 - 2 第15回 後期試験	
進め方	毎回テキストを熟読し十分に予習をした上で授業に出席し、質問に答えてもらう。		
テキスト	『これからのアメリカ』（南雲堂）	参考文献	適宜授業時に指示する。
評価方法	予習と語彙テスト:30% 中間テスト:30% 試験:40%		

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文読解力の基礎育成		梅垣 千尋（うめがき ちひろ）	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目標とする。授業で用いるテキストは、現代イギリスの文化と社会を平易な英語で論じたもの。さまざまなトピックスに触れるなかで、広い視野と豊かな教養を身につけてもらうこともねらいのひとつとしたい。		
授業計画	【前期】 第1回 前期イントロダクション 第2回 Londoners Old and New : 多文化社会イギリス (1) 第3回 Londoners Old and New : 多文化社会イギリス (2) 第4回 Upstairs, Downstairs : イギリスの階級 (1) 第5回 Upstairs, Downstairs : イギリスの階級 (2) 第6回 East End, West End : ロンドンの歴史 (1) 第7回 East End, West End : ロンドンの歴史 (2) 第8回 House and Garden : イギリスの住宅事情 (1) 第9回 House and Garden : イギリスの住宅事情 (2) 第10回 Ale, Glorious Ale! : パブの楽しみ方 (1) 第11回 Ale, Glorious Ale! : パブの楽しみ方 (2) 第12回 Hop On, Hop Off : ロンドン観光 (1) 第13回 Hop On, Hop Off : ロンドン観光 (2) 第14回 まとめ 第15回 前期試験	【後期】 第1回 後期イントロダクション 第2回 Year In, Year Out : イギリスのスポーツ (1) 第3回 Year In, Year Out : イギリスのスポーツ (2) 第4回 Shop Till You Drop : ロンドンのファッション (1) 第5回 Shop Till You Drop : ロンドンのファッション (2) 第6回 Crime and Punishment : 犯罪の歴史 (1) 第7回 Crime and Punishment : 犯罪の歴史 (2) 第8回 Winners and Losers : 金融の中心地シティ (1) 第9回 Winners and Losers : 金融の中心地シティ (2) 第10回 College and University : イギリスの学生生活 (1) 第11回 College and University : イギリスの学生生活 (2) 第12回 The Past in the Present : 大英博物館の歴史 (1) 第13回 The Past in the Present : 大英博物館の歴史 (2) 第14回 まとめ 第15回 後期試験	
進め方	テキストにそって英文の訳読、要約、内容把握の確認を行う。全員が毎回必ず予習してくる。また語彙の増強をはかるため、定期的に語彙テストを実施する。		
テキスト	Alan E. Jackson, <i>Eye on London: British Studies for College and University</i> (Macmillan Languagehouse, 2006).	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介する。
評価方法	出席状況:15% 授業への参加姿勢:15% 語彙テスト:15% 前期・後期の期末試験:55%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
英文読解の基礎力養成		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目標とします。読む英文の内容は現在の日本の社会現象や日本文化に関するものです。		
授業計画	【前期】 第1回 前期授業のイントロダクション 第2回 Headed for a communication breakdown (1) 第3回 Headed for a communication breakdown (2) 第4回 Parents should choose a child's name wisely (1) 第5回 Parents should choose a child's name wisely (2) 第6回 Cellphone addiction (1) 第7回 Cellphone addiction (2) 第8回 Smelling good doesn't always make others feel good 第9回 Smelling good doesn't always make others feel good 第10回 Women become easy targets in bad economy (1) 第11回 Women become easy targets in bad economy (2) 第12回 Women become easy targets in bad economy (3) 第13回 It's cool to carry your lunch to work (1) 第14回 It's cool to carry your lunch to work (2) 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 後期授業のイントロダクション 第2回 Pedal power bringing more than health benefits (1) 第3回 Pedal power bringing more than health benefits (2) 第4回 Pedal power bringing more than health benefits (3) 第5回 Some men prefer to be boys (1) 第6回 Some men prefer to be boys (2) 第7回 Some men prefer to be boys (3) 第8回 Some men prefer to be boys (4) 第9回 Cool Japan spreads uniform culture globally (1) 第10回 Cool Japan spreads uniform culture globally (2) 第11回 Cool Japan spreads uniform culture globally (3) 第12回 Foreign travelers prefer sushi to temple circuit (1) 第13回 Foreign travelers prefer sushi to temple circuit (2) 第14回 Foreign travelers prefer sushi to temple circuit (3) 第15回 後期定期試験	
進め方	各ユニットごとに、まず英文の内容を理解し、次にその英文中に出てきた基本的で重要な文法事項を確認し、最後に英文中の単語を利用して語彙力の増強を図ります。また英文の内容についての意見交換もします。		
テキスト	テキストは使用せず、プリントを配布します。	参考文献	必要があれば授業中に紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:20% 前・後期定期試験:50%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
英文読解の基礎力の養成		松村 伸一 (まつむら しんいち)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目標とする。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション：学校文法の復習と語彙の学習法 第2回 George Orwell, "Animal Farm" 第3回 パラグラフの構成：基本形 第4回 Elisabeth Kubler-Ross, "On Death and Dying" 第5回 パラグラフの構成：[1]比較と対照 第6回 O. Henry, "A Retrieved Reformation" 第7回 パラグラフの構成：[2]原因と結果 第8回 G. Gissing, "The Private Papers of Henry Ryecroft" 第9回 パラグラフの構成：[3]分類 第10回 Ernest Hemingway, "The Old Man and The Sea" 第11回 パラグラフの構成：[4]時間と空間 第12回 Rachel Carson, "Silent Spring" 第13回 パラグラフの構成：[5]例示 第14回 William Wilkie Collins, "The Family Secret" 第15回 前期試験	【後期】 第1回 Henry David Thoreau, "Walden" 第2回 パラグラフの構成：[6]意見と理由 第3回 S. Maugham, "The Summing Up/A Writer's Notebook" 第4回 パラグラフ理解の応用：要約する(1) 第5回 Arthur Waley, "The Tale of Genji" 第6回 パラグラフ理解の応用：要約する(2) 第7回 W. H. Davies, "The Autobiography of a Super-Tramp" 第8回 批判的に読む：意見と事実を区別する 第9回 Winston Churchill, "My Early Life" 第10回 批判的に読む：言外の意味を推測する 第11回 W. James, "The Varieties of Religious Experiences" 第12回 批判的に読む：自分の言葉で言い換える(1) 第13回 Robert Lynd, "Afternoon Tea" 第14回 批判的に読む：自分の言葉で言い換える(2) 第15回 後期試験	
進め方	現代英語の古典を材料に、構文把握の練習をくり返すことで、自信を持って正しく英文を読解できる力を養成する。あわせて語彙力の充実とパラグラフ構成の理解もはかる。あらかじめ自分なりに課題文に取り組んだ上で、授業中に自分の読みの誤りを修正するという地道な作業をくり返す以外、上達の道はない。その確認のために毎回小テストを実施す		
テキスト	葉袋善郎 (編著) 『名文で養う英語精読力』 研究社	参考文献	
評価方法	小テスト (毎回) :50% 定期試験 (2回) :50%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
英文読解パワーアップ講座		宮内 華代子 (みやうち かよこ)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション、年間授業計画 第2回 I have a dream 第3回 The Gettysburg Address 第4回 Julius Caesar 第5回 The Red-Headed League 第6回 The Great Gatsby 第7回 The Portrait of a Lady 第8回 Lady Chatterley's Lover 第9回 Lady Chatterley's Lover 第10回 Silent Spring 第11回 Alice's Adventures in Wonderland 第12回 The Adventures of Huckleberry Finn 第13回 The Adventures of Huckleberry Finn 第14回 R e v i e w 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 Daddy-Long-Leg 第2回 Robinson Crusoe 第3回 Gulliver's Travel 第4回 The Diary of a Young Girl 第5回 The Diary of a Young Girl 第6回 The Principal's Address to the Graduates 第7回 The Principal's Address to the Graduates 第8回 The Book of Tea 第9回 The Book of Tea 第10回 Bushido 第11回 The Old Man and the Sea. 第12回 Reading 第13回 Reading 第14回 Review 第15回 後期定期試験	
進め方	毎回の語彙テストの解答・解説、2冊のテキストに沿ってreadingの正確な読み取り、練習問題の答え合わせを行う。テキストを分担した学生にはレポートの作成、発表を行い、随時、英文法、英文読解などに関する小テストを実施する。授業には予習をして出席すること。		
テキスト	愛の諸相 (朝日出版社) 音読王 (小学館)	参考文献	随時紹介
評価方法	前後期定期試験:50% 出席:10% 小テスト:20% 平常点:20%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
総合的な英文読解力の基礎養成		吉野 由起 (よしの ゆき)	
ねらい	総合的な英文読解力・語彙力を養成すると共に国際的視野・教養を涵養する。(1)国際社会における様々な時事問題を扱った短い英文ニュース記事の読解(2)長編小説の精読を通じて多様な時代、ジャンル、長さの英文に触れ、テキストの種類や読む目的に応じて使い分けるscanning, skimming, close reading 等の基礎的な読解技法を習得する。		
授業計画	【前期】 第1回 前期イントロダクション 第2回 Catch the News1-1, Treasure Island 8-9 第3回 CN Unit 1-2, T/ 10-11 第4回 CN Unit 2-1, T/ 13-14 第5回 CN Unit 2-2, T/ 16-17 第6回 CN Unit 3, 小テスト 第7回 CN Unit 4-1, T/ 18-20 第8回 CN Unit 4-2, T/ 21-22 第9回 CN Unit 5, 小テスト 第10回 CN Unit 6-1, T/ 24-25 第11回 CN Unit 6-2, T/ 27-28 第12回 CN Unit 7-1, T/ 29-31 第13回 CN Unit 7-2, T/ 33-34 第14回 前期まとめと復習 第15回 前期試験	【後期】 第1回 後期イントロダクション 第2回 CN Unit 8-1, T/ 35-36 第3回 CN Unit 8-2, T/ 38-40 第4回 CN Unit 9-1, T/ 41-42 第5回 CN Unit 9-2, T/ 43-44 第6回 CN Unit 10, T/ 47, 小テスト 第7回 CN Unit 11-1, T/ 48-49 第8回 CN Unit 11-2, T/ 50-51 第9回 CN Unit 12-1, T/ 52-53 第10回 CN Unit 12-2, T/ 55 第11回 CN Unit 13, 小テスト 第12回 CN Unit 14-1, T/ 56-58 第13回 CN Unit 14-2, 15, T/ 59 第14回 後期まとめと復習 第15回 後期試験	
進め方	テキストの英文の単語の意味、文の構造、意味のまとまりを確認した上で内容把握の訓練を行う。定期的にテキストに基づく語彙・文法事項の小テストを行い総合的な英語力の養成を図る。毎回必ず予習を行い、テキストを熟読した上で授業に臨むこと。		
テキスト	(1)Haruo Kizuka, <i>Catch the News</i> (Macmillan, 2005), (2)Robert Louis Stevenson, <i>Treasure Island</i> (Macmillan Readers, 2005).	参考文献	適宜授業中に指示する。
評価方法	出席状況:10% 予習・授業参加姿勢:20% 小テスト:20% 前期・後期の期末試験:50%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
アメリカを読む		江崎 聡子 (えざき さとこ)	
ねらい	「アメリカンドリーム」、「不法移民」、「メガチャーチ」、「ファストフード」、「銃社会」など、アメリカが直面する問題やその問題に深く関連する人物に関するエッセイを読むことによって、アメリカの社会や文化の理解を深める。同時に、平易な生きた英語で書かれたテキストの読解を通じて実践的なリーディングスキルの向上を目指す。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 Topic 1-1 第3回 Topic 1-2 第4回 Topic 1-3 第5回 Topic 5-1 第6回 Topic 5-2 第7回 Topic 5-3 第8回 Topic 7-1 第9回 Topic 7-2 第10回 Topic 7-3 第11回 Topic 8-1 第12回 Topic 8-2 第13回 Topic 8-3 第14回 予備日 第15回 期末試験	【後期】 第1回 ガイダンス (前期期末試験の返却と復習) 第2回 Topic 12-1 第3回 Topic 12-2 第4回 Topic 12-3 第5回 Topic 13-1 第6回 Topic 13-2 第7回 Topic 13-3 第8回 Topic 14-1 第9回 Topic 14-2 第10回 Topic 14-3 第11回 Topic 15-1 第12回 Topic 15-2 第13回 Topic 15-3 第14回 予備日 第15回 期末試験	
進め方	二、三回の授業で一つの章をおわらせるペースで進める。受講生のみなさんにテキストを訳してもらう。各章末のまとめ問題も必ず行う。予習は授業参加の前提であるので、しっかり予習し、授業にのぞむこと。		
テキスト	America in Motion: 「アメリカの過去・現在・未来を読む」 Gary Dendo and Masako Dendo 著 (成美堂、2009年)	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	試験:60% 出席:15% 授業態度:25%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
歴史を通して英文を読む		遠藤 恵子 (えんどう けいこ)	
ねらい	I have a dream. キング牧師は黒人の公民権を訴え、ノーベル平和賞を受賞したマザーテレサは「愛」の大切さを語りました。授業では作品の書かれた時代に注意を払いながら英文を読んでいきます。また作品によってはビデオを利用して社会背景や、実際の演説を聞く機会を持ちます。後期は様々な作品に触れる機会も持ちたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 I Have a Dream. 第3回 I Have a Dream. 第4回 I Have a Dream. 第5回 I have a Dream. 第6回 ビデオ 第7回 This Gift of Peace 第8回 This Gift of Peace 第9回 This Gift of Peace 第10回 This Gift of Peace 第11回 テスト 第12回 Freedom from Fear 第13回 Freedom from Fear 第14回 Freedom from Fear 第15回 ビデオ	【後期】 第1回 R. I. P. Blinky (コピー) 第2回 R. I. P. Blinky 第3回 R. I. P. Blinky 第4回 Three Days to See 第5回 Three Days to See 第6回 Three Days to See 第7回 Three Days to See 第8回 テスト 第9回 Is There a Santa Clause? 第10回 Is There a Santa Clause? 第11回 Is There a Santa Clause? 第12回 Is There a Santa Clause? 第13回 Is There a Santa Clause? 第14回 Filler(コピー) 第15回 テスト	
進め方	予習の時辞書をひいて単語を調べて日本語に訳したけれども、何を言っているのか全々わからないということをよくききます。基本的なこと、つまり代名詞のさすものや文脈に応じた単語の意味、文型などをおさえた上で、英文を理解して訳すとそのようなことはなくなります。毎回全員が一回は当たります。積極的に授業に臨んでください		
テキスト	Words to Remember (桐原書店)、コピー (授業中に配布)	参考文献	必要に応じて紹介します。
評価方法	テスト:80% 平常点 (出席含む):20%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年 E 2 A
英文の理解と味読		中嶋 幸子 (なかじま ゆきこ)	
ねらい	英文の読解力を質的にも量的にも高めることを目指します。どのような文章に接しても、それぞれに応じて、その特徴を迅速に理解し、その内容を的確に読みとることができる、柔軟な読解力を養いたい。文法や語彙の説明、確認も行いますが、その先の、内容の十分な理解を重視します。		
授業計画	【前期】 第1回 "Cavegirls Were First Blonds to Have Fun" 第2回 "Cavegirls Were First Blonds to Have Fun" 第3回 "Freaking for Sneakers" 第4回 "Freaking for Sneakers" 第5回 "Caring enough to Stamp 'I Love You' " 第6回 "Caring enough to Stamp 'I Love You' " 第7回 "Whitelist" 第8回 "Whitelist" 第9回 "Growing Up Potter" 第10回 "Growing Up Potter" 第11回 "Still the Head of the Class?" 第12回 "Still the Head of the Class?" 第13回 "China Syndrome" 第14回 "China Syndrome" 第15回 定期試験	【後期】 第1回 "Service with a Motto: A Japanese Chain Arrives" 第2回 "Service with a Motto: A Japanese Chain Arrives" 第3回 "Career Women Turn against Easy Divorce" 第4回 "Career Women Turn against Easy Divorce" 第5回 "For Mature Audiences" 第6回 "For Mature Audiences" 第7回 "For Sake' s Sweet Sake" 第8回 "For Sake' s Sweet Sake" 第9回 "The Pleasure of the Text (1)" 第10回 "The Pleasure of the Text (1)" 第11回 "The Pleasure of the Text (2)" 第12回 "The Pleasure of the Text (2)" 第13回 "Facing the Truth" 第14回 "Facing the Truth" 第15回 定期試験	
進め方	毎回のていねいな予習が前提です。授業は、英文の訳読が中心となりますが、文章を音読して英語の発音も確認します。また、訳読に先立って、ページ毎の大意の要約や、テキストの朗読を聴いてのリスニングコンプリヘンションを行います。担当者による訳読、説明やコメントの発表の他に、内容の確認と読み込みを深めるための質問に答えてもらいます。		
テキスト	H. Natume, S. Kawahara, <i>et al.</i> eds., <i>Global View</i> (朝日出版社) .	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 平常点:30% 出席:10%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年 E 2 B
英文の理解と味読		中嶋 幸子 (なかじま ゆきこ)	
ねらい	英文の読解力を質的にも量的にも高めることを目指します。どのような文章に接しても、それぞれに応じて、その特徴を迅速に理解し、その内容を的確に読みとることができる、柔軟な読解力を養いたい。文法や語彙の説明、確認も行いますが、その先の、内容の十分な理解を重視します。		
授業計画	【前期】 第1回 "Death' s Waiting List" 第2回 "Death' s Waiting List" 第3回 "Greetings Kill: Primer for a Pandemic" 第4回 "Greetings Kill: Primer for a Pandemic" 第5回 "Greetings Kill: Primer for a Pandemic" 第6回 "A Parent' s Guide To Teenspeak By Text Message" 第7回 "A Parent' s Guide To Teenspeak By Text Message" 第8回 "A Parent' s Guide To Teenspeak By Text Message" 第9回 "A Pop Quiz on Marriage" 第10回 "A Pop Quiz on Marriage" 第11回 "A Pop Quiz on Marriage" 第12回 "Old and Overscheduled: No, You Can' t Just Dodder" 第13回 "Old and Overscheduled: No, You Can' t Just Dodder" 第14回 "Old and Overscheduled: No, You Can' t Just Dodder" 第15回 定期試験	【後期】 第1回 "Melt Down: Yelling 'Fire' On A Hot Planet" 第2回 "Melt Down: Yelling 'Fire' On A Hot Planet" 第3回 "Melt Down: Yelling 'Fire' On A Hot Planet" 第4回 "Eating My Spinach: Four Days on the Uncle Sam Diet" 第5回 "Eating My Spinach: Four Days on the Uncle Sam Diet" 第6回 "Eating My Spinach: Four Days on the Uncle Sam Diet" 第7回 "So English Is Taking Over the Globe. So What" 第8回 "So English Is Taking Over the Globe. So What" 第9回 "So English Is Taking Over the Globe. So What" 第10回 "For Centenarians, It All Begins at Birth" 第11回 "For Centenarians, It All Begins at Birth" 第12回 "For Centenarians, It All Begins at Birth" 第13回 "China' s Next Big Boom Could Be the Foul Air" 第14回 "China' s Next Big Boom Could Be the Foul Air" 第15回 定期試験	
進め方	毎回のていねいな予習が前提です。授業は、英文の訳読が中心となりますが、文章を音読して英語の発音も確認します。また、訳読に先立って、ページ毎の大意の要約や、テキストの朗読を聴いてのリスニングコンプリヘンションを行います。担当者による訳読、説明やコメントの発表の他に、内容の確認と読み込みを深めるための質問に答えてもらいます。		
テキスト	K. Rume, Y. Hosokawa, <i>et al.</i> eds., <i>Neo Vista</i> (英宝社)	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 平常点:30% 出席:10%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
パラグラフ・ライティング入門		内田 有紀 (うちだ ゆうき)	
ねらい	それぞれ関心を持っているトピックについて書くことを繰り返ししながら、パラグラフ・ライティングの基礎を学んでいきたいと思えます。まずは英語を書くという行為に慣れること、それから構成のしっかりした英文とは何かという問題について繰り返し考えながら、少しずつそれに近づいていきたいと思えます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス、書くための道具、パラグラフ、自己紹介文 第2回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題1) 第3回 書く際の注意、ドラフティング (課題1) 第4回 課題1の提出、文法・クリニック、訂正のサイン 第5回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題2) 第6回 ドラフティング (課題2) 第7回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題2) 第8回 課題2の提出、文法・クリニック、複数のパラグラフ 第9回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題3) 第10回 ドラフティング (課題3) 第11回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題3) 第12回 課題3の提出、文法・クリニック 第13回 課題を発表する 第14回 課題を発表する (続き) 第15回 課題を発表する (続き)	<p>【後期】</p> 第1回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題5) 第2回 ドラフティング (課題5) 第3回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題5) 第4回 課題5の提出、文法・クリニック 第5回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題6) 第6回 ドラフティング (課題6) 第7回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題6) 第8回 課題6の提出、文法・クリニック 第9回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題7) 第10回 ドラフティング (課題7) 第11回 ビア・レビューとリヴィジョン (課題7) 第12回 課題7の提出、文法・クリニック 第13回 課題を発表する 第14回 課題を発表する (続き) 第15回 課題を発表する (続き)	
進め方	課題ごとにサンプルとなる例文を読み、目的とやり方を解説してから、実際にライティングの作業を行なってもらいます。それぞれの作業の途中経過を確認しながら、より良くするための提案を行ないます。課題の仕上げは宿題としてやってもらうこともあります。出来上がった課題には添削とコメントを加えます。授業計画は状況に応じて変化します。		
テキスト	Yoshihito Sugita and Richard R. Caraker, <i>Primary Course on Paragraph Writing</i> . 成美堂	参考文献	適宜、指示します。和英辞典は毎回持参すること。
評価方法	出席状況:20% 授業への参加態度:40% 課題:40%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
基本英文を覚えて活用する。		遠藤 恵子 (えんどう けいこ)	
ねらい	基本的な文法事項を確認し様々な種類の英文を学びながら、日本語と英語の表現の違いを知る。基本的な英文を確実に覚えその英文を変える事で、自分の考えや伝えたい事を表現する力を養う。paragraphについても学び、演習を通してparagraphを書く練習をする。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業の進め方について 第2回 人間主語 第3回 無生物主語 第4回 時制 第5回 時制 第6回 冠詞 (プリント配布) 第7回 冠詞 (プリント配布) 第8回 名詞の加算性 第9回 名詞修飾 第10回 名詞構文 第11回 助動詞 第12回 助動詞 第13回 paragraphについて説明 第14回 まとめ 第15回 テスト	<p>【後期】</p> 第1回 不定詞・動名詞 (プリント配布) 第2回 不定詞・動名詞 (プリント配布) 第3回 否定 第4回 受動態 第5回 受動態 第6回 比較 第7回 比較 第8回 代名詞 It 第9回 前置詞・副詞 第10回 前置詞・副詞 第11回 複文 第12回 複文 第13回 演習 第14回 まとめ 第15回 テスト	
進め方	テキストにそって文法の復習をしながら問題演習を行います。復習をかね、前の時間に学んだ英文を使って授業中に行う英作の小テストが毎回あります。(覚えた英文を使って教科書とは違う文章を書いてきます。) 演習の時間はparagraphについて学び、資料にそって実際に書く練習をします。辞書は必ず持ってきてください。		
テキスト	Communicative English Grammar (英宝社)	参考文献	Paragraph Writing (コピー配布) その他必要に応じて紹介します。
評価方法	小テスト:70% 演習レポート:20% 出席:10%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英語表現における文法を学び活用する		下澤 礼子（しもざわ れいこ）	
ねらい	日常生活のあらゆるテーマにおける文法表現及び語彙を学ぶ		
授業計画	【前期】 第1回 Introductions: "About Myself" 第2回 名詞 第3回 代名詞 第4回 自動詞・他動詞・リンキング動詞 第5回 助動詞 第6回 不定詞・動名詞 第7回 場所・動きを表す前置詞 第8回 時間を表す前置詞 第9回 形容詞・副詞 第10回 原級・比較級・最上級 第11回 接続詞 (1) 第12回 現在形・現在進行形 第13回 過去形 第14回 Review 第15回 定期試験	【後期】 第1回 未来形 第2回 現在完了・過去完了 第3回 能動態・受動態 第4回 接続詞 (2) 第5回 否定文 第6回 疑問文・疑問詞・付加疑問文 第7回 関係代名詞・関係副詞 第8回 後置修飾 第9回 仮定法 第10回 話法 第11回 Presentations (1) 第12回 Presentations (2) 第13回 Presentations (3) 第14回 Review 第15回 定期試験	
	進め方	テキストに沿って、さまざまな英語の文法表現や語彙について学びながら、授業内外の課題を通して書く作業を進めます。質の高いアウトプットには、質の高いインプットが必要となるため、英語の他の3技能を多角的に高めるアクティビティにも取り組みます。後期には学んだ表現や語彙を使い、各自選んだテーマの沿ったプレゼンテーションをします	
テキスト	<i>English Grip: Essential English Skills for College Students</i> (金星堂)	参考文献	英和英辞典（電子辞書可）を毎回持参
評価方法	定期試験:30% 課題提出・語彙テスト:40% 授業への参加:10% 出席:20%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
コミュニケーションのための英語表現を学ぶ		長谷川 淳一（はせがわ じゅんいち）	
ねらい	英語の語順や文構造を確認しながら、自分の意思を英語できちんと書く方法を学ぶ。		
授業計画	【前期】 第1回 Weather and Climate 及び プリント 第2回 Weather and Climate 第3回 Daily Life 第4回 Daily Life 第5回 Campus Life 及び プリント 第6回 Campus Life 第7回 Music 第8回 Music 第9回 Studies 及び プリント 第10回 Studies 第11回 Newspapers and Magazines 第12回 Newspapers and Magazines 第13回 Shopping 及び プリント 第14回 Shopping 第15回 前期試験	【後期】 第1回 Eating Out 及び プリント 第2回 Eating Out 第3回 Sports and Watching Sporting Events 第4回 Sports and Watching Sporting Events 第5回 Computers 及び プリント 第6回 Computers 第7回 Telephone 第8回 Telephone 第9回 Traveling Abroad 及び プリント 第10回 Traveling Abroad 第11回 Movies 第12回 Movies 第13回 Health and Exercise 及び プリント 第14回 Health and Exercise 第15回 後期試験	
	進め方	身の回りの話題について取り上げた演習問題を通して、英語の語順や文構造を学んでいくテキストを使用する。また、プリントも随時使用する。具体的には、日本語と英語の文構造の相違を比較しながらのライティング演習と演習問題に関係のある基本的な文法事項の再確認をする。なお、進捗状況によっては、授業内容が多少変更することもある。	
テキスト	「日常表現で学ぶ英語の語順」（朝日出版社）	参考文献	随時、授業中に紹介する。
評価方法	出席率:30% 定期試験:50% 平常点:20%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英文法の習熟をはかり、発信型の英語の書き方を徹底的に学ぶ		宮内 華代子 (みやうち かよこ)	
ねらい	英文法の習熟をはかり、発信型の英語の書き方を徹底的に学ぶ		
授業計画	【前期】	【後期】	
	第1回 インTRODakション 第2回 不定詞 第3回 不定詞 第4回 分詞 第5回 動名詞と不定詞 第6回 時制 第7回 未来表現 第8回 進行形 第9回 完了形 第10回 態 第11回 仮定法 第12回 仮定法 第13回 比較構文 第14回 否定 第15回 Review	第1回 名詞 第2回 代名詞 第3回 代名詞 第4回 形容詞 第5回 冠詞 第6回 数量詞 第7回 副詞 第8回 動詞 第9回 法助動詞 第10回 法助動詞 第11回 前置詞 第12回 前置詞 第13回 前置詞 第14回 接続詞 第15回 Review	
進め方	2冊のテキストに沿って、講義、学生の発表・演習を行う。英文法の必須事項を取り上げた問題に取り組み、様々なトピックに関する模範英文を暗記し、作文力増強に役立つ色々な形式の練習問題を解く。随時小テスト、英文自由作文作成などを実施。授業には予習、宿題をしてきて出席すること。		
テキスト	A Communicative Grammar of English (南雲堂) A Shorter Course in Dictation (南雲堂)	参考文献	随時紹介
評価方法	前後期定期試験:60% 出席:20% 平常点・小テスト:20%		

Introductory College English I	通年 2 単位	1年
Listening and Speaking		
<p>【担当教員】 オクマ (OKUMA, G. S.)、カーン (KERN, D. L.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa) ねらい</p> <p>This course aims to improve students' listening and speaking skills in an efficient way. The course is designed around a core vocabulary of 240 essential words. This vocabulary is incorporated into homework and class work exercises that focus on topics familiar and interesting to students. In order to make the most of classroom time, homework will focus on listening, and the class will focus on communicative exchanges between and among students.</p> <p>授業計画 First Semester Week 1 Course Goals and Objectives Week 2 Unit 1: Talking about Introductions Week 3 Unit 2: Talking about Family Week 4 Unit 3: Talking about Movies Week 5 Unit 4: Talking about Directions Week 6 Review; Prepare for Test 1 Week 7 Test 1 Week 8 Unit 5: Talking about Travel Week 9 Unit 6: Talking about Recipes Week 10 Unit 7: Talking about Health Week 11 Unit 8: Talking about Making a Speech Week 12 Review; Prepare for Test 2 Week 13 Test 2</p> <p>Second Semester Week 14 Summer Vacation Speeches Week 15 Unit 9: Talking about Music Week 16 Unit 10: Talking about Friends Week 17 Unit 11: Talking about Money and Jobs Week 18 Unit 12: Talking about Superstitions Week 19 Review; Prepare for Test 3 Week 20 Test 3 Week 21 Unit 13: Talking about Sports Week 22 Unit 14: Talking about the News Week 23 IP TOEIC Listening Week 24 Unit 15: Talking about Fashion Week 25 Unit 16: Talking about the Past and Future Week 26 One-minute presentations; Review; Prepare for Test 4 Week 27 Test 4</p> <p>進め方 Each week, you will practice dictation, listening comprehension and discussion with a partner and in small groups. In addition, you will do homework each week consisting of vocabulary and listening exercises. There will also be TOEIC quizzes designed to help you improve your score on the TOEIC and vocabulary quizzes to help you remember new words.</p> <p>テキスト Booklet</p> <p>評価方法 Your grade for this course will be based on the following: Tests 50% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。 Participation/Homework 20% Vocabulary Quizzes 20% Presentations and Speeches 10%</p> <p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Introductory College English II	通年 2 単位	1年
Writing		
【担当教員】		
<p>オクマ (OKUMA, G. S.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、サノ (SANO, K. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ピンター (PINTER, B.)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、ホホワイト (WHYTE, D. W.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa)</p>		
ねらい		
<p>In this course, you will focus on writing paragraphs. By the end of the course, you will be able to write several styles of paragraphs on a variety of topics. You will focus on form, with a particular emphasis on the nature of a paragraph, the topic sentence, supporting sentences, the concluding sentence, transitions, unity, and sentence combining.</p>		
授業計画		
First Semester		
Week 1	Teacher and Course Introduction: Introduction to Paragraph Writing	
Week 2	Sentence Structure and Sentence Combining	
Week 3	3 Parts of a Paragraph: Topic Sentences: Paragraph Unity	
Week 4	Supporting Sentences; Transition Signals; Concluding Sentences; Outlines	
Week 5	Sample Test: Outlines	
Week 6	Test 1	
Week 7	Listing Order Outline and Paragraph; Grammar	
Week 8	Sentence Structure; Concluding Sentences; Error Paragraph 2 (Listing Order)	
Week 9	Introduction to Instructions Paragraph	
Week 10	Paragraph Writing; Concluding Sentences	
Week 11	Paragraph Writing	
Week 12	Review; Explanation of Summer Homework	
Week 13	Test 2	
Second Semester		
Week 14	Space Order Paragraph	
Week 15	Prepositional Phrases; Sentence Structure; Paragraph Writing	
Week 16	Paragraph Writing; Introduction to Reasons and Examples/ Opinion Paragraphs	
Week 17	Complex Sentences; Opinion Paragraphs	
Week 18	Paragraph Writing; Review	
Week 19	Test 3	
Week 20	Opinion Outline and; Paragraph; Facts and Opinions; Error Paragraph 4	
Week 21	Opinion Paragraph and Opinion Transition Signals	
Week 22	Introduction to Opinion/Reaction Paragraph; Paraphrasing	
Week 23	Opinion/Reaction Main-Point Questions and Sample Outline/Paragraph	
Week 24	Reaction Questions; Topic Sentences; Paragraph Writing	
Week 25	Paragraph Writing	
Week 26	Test Preparation; Course Evaluation	
Week 27	Test 4	
進め方		
<p>You will explore the writing process through the techniques of brainstorming, narrowing a topic, outlining, sequencing, and providing evidence and examples. For weekly homework, you will write an outline and/or a paragraph based on a topic sentence set by your teacher. Your teacher will correct your work and return it; you will rewrite the paragraph based on your teacher's comments and corrections.</p>		
テキスト		
First Steps in Academic Writing		
Booklet		
評価方法		
Your grade for this course will be based on the following:		
Tests 50% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。		
Paragraph Assignments 40%		
Homework and Class Participation 10%		
Paragraphs and outlines must be handed in on time. Late paragraphs and outlines will receive a grade of zero.		
<p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Introductory College EnglishIII	通年 2 単位	1年
Reading		
【担当教員】		
<p>オクマ (OKUMA, G. S.)、カーン (KERN, D. L.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドィェヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ピンター (PINTER, B.)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa)</p>		
ねらい		
<p>In this course, you will participate in a student-centered process approach to develop your reading skills. You will learn specific reading strategies, including skimming and scanning, previewing and predicting, guessing meanings of unknown words in context, making inferences, and identifying main ideas and patterns of organization. You will also do extensive reading exercises. During extensive reading, you will apply your developing reading skills by selecting and reading books that match your interests. Finally, you will practice speed-reading to develop accuracy and fluency. Your reading speed will increase through timed readings of passages controlled for vocabulary and sentence structure.</p>		
授業計画		
First Semester		
Week 1 Introduction		
Week 2 Speed Reading and Skimming		
Week 3 Scanning and Thinking Skills		
Week 4 Previewing and Predicting		
Week 5 Making Predictions and Guessing Word Meaning		
Week 6 Review		
Week 7 Test 1		
Week 8 Looking for the Topic		
Week 9 Skimming and Review		
Week 10 Pronouns and Synonyms		
Week 11 Synonyms and Reading Comprehension		
Week 12 What is a Paragraph? Review For Test 2		
Week 13 Test 2		
Second Semester		
Week 14 What is the Topic and Main Idea?		
Week 15 Patterns of Organization		
Week 16 Paragraph Pattern - Listing Order		
Week 17 Paragraph Pattern - Cause and Effect		
Week 18 Skimming and Scanning Review		
Week 19 Test 3		
Week 20 Paragraph Pattern - Time Order		
Week 21 IP TOEIC		
Week 22 Paragraph Pattern- Comparison/Contrast		
Week 23 Speech Contest 2nd period; PM classes: Book Discussion 'Cries from the Heart'		
Week 24 Book Discussion 'Cries from the Heart'		
Week 25 Making Inferences		
Week 26 Making Inferences (continued)		
Week 27 Test 4		
進め方		
<p>Each week, you will practice reading exercises of three types, namely: extensive reading, reading skills and speed-reading.</p>		
テキスト		
Booklet		
評価方法		
Your grade for this course will be based on the following:		
Tests 60% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。		
Graded Reader Reports 20%		
Attendance Participation and Homework 20%		
<p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Intermediate College English	通年 2 単位	2年
INCH		
<p>【担当教員】 オクマ (OKUMA, G. S.)、カーン (KERN, D. L.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa) ねらい In this course, you will make use of the English you already know and continue to develop the reading and discussion skills you learned last year. During the year, you will concentrate on four broad issues that face the world today. Each week, you will read in depth one or more articles relating to a particular issue. You will then prepare to discuss the questions raised by this article in class. For each of the four broad areas covered, you will be responsible for finding a related article and summarizing and explaining it, and your opinions on it, to your classmates.</p> <p>授業計画 First Semester Week 1 Introduction - Minamata Week 2 Minamata Week 3 Water Week 4 Water - Fast Food Week 5 Fast Food Week 6 Unit 1 - News Report Presentations Week 7 Comprehension Test 1 - Discussion Test 1 Week 8 Parasite Singles Week 9 Parasite Singles - Charity Week 10 Charity - HIV/AIDS Week 11 HIV/AIDS Week 12 Unit 2 - News Report Presentations Week 13 Comprehension Test 2 - Discussion Test 2</p> <p>Second Semester Week 14 Smoking Week 15 Smoking - Organ Donation Week 16 Organ Donation Week 17 Cloning Week 18 Unit 3 - News Report Presentations Week 19 Comprehension Test 3 - Discussion Test 3 Week 20 TOEIC Week 21 TOEIC Week 22 Work (Japan) Week 23 Work (Japan) - Work (Japan and Abroad) Week 24 Work (Japan and Abroad) Week 25 Review for Test 4 Week 26 Unit 4 - News Report Presentations Week 27 Comprehension Test 4 - Discussion Test 4</p> <p>進め方 For homework, there will be one or two articles to read followed by vocabulary and comprehension questions. The teacher and students will discuss the articles in class and go over the questions raised in the homework. Following this, students will choose questions for discussion or debate in the next class. Students might also be asked to give short presentations on discussion questions. At the conclusion of each of the four major topics of the course, students will find a related news report and write a summary and opinion for homework, which they will then present to their classmates.</p> <p>テキスト Booklet An English-English dictionary (electronic or otherwise) is recommended.</p> <p>評価方法 Your grade will be based upon the following: Tests 75% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。 Attendance, class work, participation and homework 25%</p> <p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

英文学史		通年 4 単位	1年
英文学史：英文学の流れをつかむ		甘濃 夏実（あまの なつみ）	
ねらい	14世紀から現代までの英国の歴史のうねりの中で生まれた様々な作家・作品への理解を深め、ユーモアとひねりに満ちた英文学の歴史を概観することを第一の目標とする。英文を読む楽しさを感じ、作品のテーマを分析し考察してほしい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODakション 第2回 ペオウルフ・チョーサー 第3回 16世紀の詩と散文 第4回 シェイクスピアの喜劇 第5回 シェイクスピアの悲劇 第6回 ミルトン 第7回 王政復古期 第8回 18世紀（スウィフト） 第9回 近代小説の誕生と成長 第10回 ロマン主義の文学（前期） 第11回 ロマン主義の文学（後期） 第12回 ヴィクトリア時代の小説と散文（ディケンズ） 第13回 ディケンズ・ブロンテ姉妹 第14回 ブロンテ姉妹 第15回 試験	【後期】 第1回 後期ヴィクトリア時代（ハーディ） 第2回 コンラッド・スティヴンソン・キプリング 第3回 世紀末唯美主義運動（ワイルド） 第4回 現代小説の発展 第5回 モダニズム（フォースター） 第6回 ジョイス・ロレンス 第7回 プルームズベリー・グループ（ウルフ） 第8回 20・30年代の作家 第9回 女性作家 第10回 第2次大戦中の文学 第11回 戦後の文学 第12回 現代詩・演劇の世界 第13回 現代の文学 第14回 予備日 第15回 試験	
進め方	作家が生きた時代の思潮や社会情勢をみながら、主要作家のプロフィールと特色の解説、作品の主題の分析を行う。原文の精読を随時行い、映画や絵画も併せて鑑賞し、さらなる理解を深めたい。		
テキスト	『イギリス文学ガイド』（荒地出版社）と適宜プリント	参考文献	相島倫嘉『The Stream of English Literature イギリス文学の流れ』（南雲堂）
評価方法	出席:20% 試験:70% 平常点:10%		

英文学史		通年 4 単位	1年
イギリス文学史：作品と社会的背景について		藤村 待子（ふじむら まちこ）	
ねらい	イギリス文学史を概観し、各時代の歴史や社会的背景などを考えながら、作品を見ていきます。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODakション 第2回 アングロ・サクソン時代の文学 第3回 中世の文学(1) 第4回 中世の文学(2) 第5回 ルネサンス期の詩と散文 第6回 宗教改革と英語の聖書 第7回 イギリス演劇の起源と発展 第8回 シェイクスピア(1) 第9回 シェイクスピア(2) 第10回 17世紀前半の文学(1) 第11回 17世紀前半の文学(2) 第12回 ミルトン 第13回 17世紀後半の文学(1) 第14回 17世紀後半の文学(2) 第15回 前期期末試験	【後期】 第1回 18世紀 小説とジャーナリズムの時代(1) 第2回 18世紀 小説とジャーナリズムの時代(2) 第3回 18世紀 小説とジャーナリズムの時代(3) 第4回 ロマン主義の時代(1) 第5回 ロマン主義の時代(2) 第6回 ヴィクトリア朝の詩 第7回 ヴィクトリア朝の小説(1) 第8回 ヴィクトリア朝の小説(2) 第9回 ヴィクトリア朝の小説(3) 第10回 ヴィクトリア朝の小説(4) 第11回 20世紀 現代文学の幕開け 詩と小説(1) 第12回 20世紀 詩と小説(2) 第13回 20世紀 詩と小説(2) 第14回 英文学史まとめ 第15回 後期期末試験	
進め方	教科書を中心に講義形式で授業を進めますが、必要に応じてプリントを配布します。また、言及されることの多い作品については、なるべく原文に触れたいと思います。ただ、授業の進め方は受講者の関心などに応じて柔軟に修正する予定です。		
テキスト	日本イギリス文学・文化研究所編『イギリス文学ガイド』（荒地出版社）	参考文献	授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席・授業への参加:30% 前期期末試験:35% 後期期末試験:35%		

英文学史		通年 4 単位	1年
イギリス文学の歴史とその背景		松村 伸一（まつむら しんいち）	
ねらい	英米の新聞雑誌の見出しにしばしば古今の名作への言及が用いられるなど、文学作品の大きき内容や有名な一節を知ること、実は意外に実用的な知識だ。この授業では、背景となる歴史を踏まえつつ、著名な作家・作品や、様々な文学上の概念を紹介する。イギリスの歴史と文学について、世紀ごとのイメージを把握し、活きた知識を習得してほしい		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション：授業概要 第2回 古英語・中英語の文学（1）：イギリス文化の基層 第3回 古英語・中英語の文学（2）：夢想寓意詩と騎士道物語 第4回 古英語・中英語の文学（3）：チャーサー 第5回 ルネサンス期の詩と散文（1）：歴史的背景 第6回 ルネサンス期の詩と散文（2）：宮廷詩人とソネット 第7回 ルネサンス期の詩と散文（3）：エリザベス女王の時代 第8回 エリザベス朝演劇（1）：イギリス演劇の発生 第9回 エリザベス朝演劇（2）：「大学才人」の演劇 第10回 エリザベス朝演劇（3）：シェイクスピア 第11回 17世紀前半の文学（1）：歴史的背景、英訳聖書と散文 第12回 17世紀前半の文学（2）：ジャコビアン・ドラマ 第13回 17世紀前半の文学（3）：形而上派詩人と王党派詩人 第14回 まとめ 第15回 前期試験	【後期】 第1回 17世紀後半の文学（1）：歴史的背景、演劇 第2回 17世紀後半の文学（2）：清教徒文学 第3回 17世紀後半の文学（3）：新古典主義文学 第4回 18世紀の詩と散文（1）：歴史的背景 第5回 18世紀の詩と散文（2）：ジャーナリズムと風刺文学 第6回 18世紀の詩と散文（3）：理性と感傷 第7回 「小説」という文学形式の誕生と発展 第8回 ロマン主義の時代（1）：歴史的背景 第9回 ロマン主義の時代（2）：ロマン派第一世代の詩 第10回 ロマン主義の時代（3）：ロマン派第二世代の詩 第11回 ヴィクトリア朝の詩と散文（1）：歴史的背景 第12回 ヴィクトリア朝の詩と散文（2）：社会と芸術 第13回 ヴィクトリア朝の詩と散文（3）：中世趣味と劇的独白 第14回 まとめ 第15回 後期試験	
進め方	講義。毎回復習小テストを行う（出欠確認用）。しかし、講義で扱えるのはせいぜい19世紀の詩と散文までだろう。欠けた部分を補うために、前期末頃から、18～20世紀の小説を中心に課題作品を指定し、これらについて担当者数名が発表する作業を取り入れる。発表準備を通じて、ひとりひとりが文学作品と直接向き合っていたきたい。		
テキスト	川崎寿彦『イギリス文学史』（成美堂）	参考文献	『英米文学辞典』（研究社）などを発表準備時に利用。
評価方法	出席:25% 発表:5% 定期試験（2回）:70%		

米文学史		通年 4 単位	1年
小説を中心にしたアメリカ文学の流れ		池田 孝一（いけだ こういち）	
ねらい	17世紀から現代にいたるアメリカ文学の主要作品を数作熟読し、アメリカ文学に親しむ。		
授業計画	【前期】 第1回 はじめに 第2回 17世紀（1） 第3回 17世紀（2） 第4回 18世紀～19世紀 第5回 エドガー・アラン・ポー 第6回 ナサニエル・ホーソーン 第7回 ハーマン・メルヴィル 第8回 ウォルト・ホイットマンとエミリー・ディキンソン 第9回 『ハックルベリー・フィンの冒険』（1） 第10回 同上（2） 第11回 同上（3） 第12回 同上（4） 第13回 ヘンリー・ジェームズ 第14回 19世紀から20世紀へ 第15回 前期試験	【後期】 第1回 自然主義の作家 第2回 F・スコット・フィッツジェラルド 第3回 アーネスト・ヘミングウェイ 第4回 ウィリアム・フォークナー 第5回 『グレート・ギャツビー』（1） 第6回 同上（2） 第7回 同上（3） 第8回 モダニズムの詩人（1） 第9回 同上（2） 第10回 ジョン・スタインベック 第11回 J. D. サリンジャー 第12回 ユダヤ系の作家 第13回 黒人作家 第14回 現代の文学 第15回 後期試験	
進め方	テキストの2作品に加えて別の2作品を選択して精読してもらい、小説を中心にアメリカ文学に触れる。		
テキスト	マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』上・下（岩波文庫）とフィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』（中央公論社）	参考文献	適宜授業時に指示する。
評価方法	各学期3回の小テスト:40% 試験:60%		

米文学史		通年 4 単位	1年
アメリカ文学に親しむ		岡田 慶子 (おかだ けいこ)	
ねらい	アメリカ文学の基礎となる、植民地時代から20世紀前半までの、アメリカの社会と文学について学習します。それぞれの時代における重要な歴史事項の解説や、代表的な作家たちの作品を実際に鑑賞することで、アメリカ文学を少しでも身近なものとして感じられる機会を持ちます。		
授業計画	【前期】 第1回 はじめに ～ アメリカ文学を学ぶということ 第2回 アメリカ文学の特質 ～ その精神と地域性 第3回 植民地時代 第4回 植民地時代の文学 第5回 ビューリタニズム 第6回 アメリカの独立 第7回 B. フランクリン 第8回 W. アーヴィング 第9回 J. F. クーパー 第10回 ロマンティシズムの時代 第11回 超絶主義 第12回 R. W. エマソン 第13回 H. D. ソロー 第14回 N. ホーソン 第15回 『緋文字』	【後期】 第1回 前期の復習 ～ 19世紀前半まで 第2回 ロマンティシズムの詩人たち ～ ロングフェロー 第3回 W. ホイットマン 第4回 E. ディキンソン 第5回 南北戦争 第6回 南北戦争後のアメリカ 第7回 リアリズムの時代 第8回 M. トウエイン 第9回 『ハックルベリー・フィンの冒険』 第10回 H. ジェイムズ 第11回 自然主義 ～ S. クレイン 第12回 第一次世界大戦以後 ～ 1920年代 第13回 F. S. フィッツジェラルド 第14回 『偉大なるギャツビー』 第15回 おわりに ～ アメリカ文学から学ぶこと	
進め方	文学史の講義と作品鑑賞との二つのアプローチを行います。作品鑑賞については、映像などを活用することで、より印象的な学習体験ができるようにします。学生自身の積極的な参加が必須です。		
テキスト	『アメリカ文学史要説』山川 瑞明 他 著 (南雲堂)	参考文献	図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	定期試験:50% 平常点・提出物 :50%		

米文学史		通年 4 単位	1年
〈時代と人〉が文学を生む		君塚 淳一 (きみづか じゅんいち)	
ねらい	アメリカ文学を〈時代と人〉というキーワードで捉え、歴史的背景もおさえた上で、学際的に学ぶ。文学は国、地域、時代、民族、人など様々な要素が重なり合い生み出されるもの。アメリカは移民の国であり、この点で多様性に富み、それ故に面白い。特にこの点を考慮し、アメリカ文学を理解し、味わってもらふことをねらいとしている。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション「アメリカとは、アメリカ文学とは」 第2回 植民地時代(1) ビルグリム・ファーザーズ報告書伝記 第3回 植民地時代(2) 魔女狩りまで 第4回 独立戦争の時代の文学 第5回 アメリカ文学の興隆 第6回 アメリカン・ルネッサンスと超絶主義とその時代(1) 第7回 アメリカン・ルネッサンスと超絶主義とその時代(2) 第8回 アメリカン・ルネッサンスと超絶主義とその時代(3) 第9回 南北戦争とその時代の文学 第10回 地方主義文学の時代とその背景 第11回 地方主義からリアリズム文学へ 第12回 リアリズムと写実主義文学 第13回 自然主義文学とアメリカの都市そして移民(1) 第14回 自然主義文学とアメリカの都市そして移民(2) 第15回 まとめ(総復習)と夏休みの課題などの説明	【後期】 第1回 20世紀初頭のアメリカと文学 第2回 1920年代(ロストジェネレーション)への胎動 第3回 第1次大戦とロストジェネレーション(1):20年代 第4回 第1次大戦とロストジェネレーション(2):戦争文学 第5回 第1次大戦とロストジェネレーション(3):戦後 第6回 大恐慌と1930年代プロレタリア文学 第7回 アメリカ南部作家とその周辺(1) 第8回 アメリカ南部作家とその周辺(2) 第9回 第2次世界大戦と戦争文学その後 第10回 1950年代:ビート・ジェネレーション、少数民族 第11回 ユダヤ系作家、アフリカ系作家(1) 第12回 ユダヤ系作家、アフリカ系作家とその他(2) 第13回 現代作家(1960年代-70年代)概説(1) 第14回 現代作家(1980年代-90年代とその後)概説(2) 第15回 まとめ(総復習)と後期試験についての説明など	
進め方	講義では単に作家や作品の生没を羅列するのではなく、学際的視点から文学史の流れを理解してもらおうと考えている。年間を通じてできる限り作品も読んでもらうが、作品や背景理解のためにはビデオ教材を使用する。又、小説に関するレポートや小テストも有り。		
テキスト	岩山太次郎他著『初めて学ぶアメリカ文学史』(金星堂)/君塚淳一監修『アメリカ1920年代-ローリング・トゥエンティーズの光と影』(金星堂)。	参考文献	授業時に紹介していく。
評価方法	出席:20% レポート:30% 定期試験:50%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
Sound and Silence in Short American Fiction		カーン (KERN, D. L.)	
ねらい	As this is a literature seminar taught entirely in English, students will have considerable opportunity to both develop their English language skills at an advanced level and to survey the vast panorama of short fiction of the United States from its beginnings to the present day.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Welcome: Introduction to the seminar... 第2回 American short stories: the historical context... 第3回 Poe: "The Tell-Tale Heart"; Worksheet 1 第4回 Hawthorne: "Young Goodman Brown"; Worksheet 2 第5回 Review of Poe and Hawthorne... 第6回 Freeman: "A Village Singer"; Worksheet 3 第7回 Wharton: "The Day of the Funeral" 第8回 Cather: "A Wagner Matinee"; Worksheet 5 第9回 Review of Freeman, Wharton, Cather; women writers 第10回 O Henry: "The Last of the Troubadours"; Worksheet 第11回 Parker: "The Waltz" 第12回 Review of the stories and major themes... 第13回 Test	<p>【後期】</p> 第1回 Review of first semester: Fitzgerald 第2回 Baldwin: "Sonny's Blues"; Worksheet 7 第3回 Capote: "Music for Chameleons"; Worksheet 8 第4回 Updike: "The Man Who Became a Soprano" 第5回 Didion: "When Did Music Come This Way?" 第6回 Theroux: "White Christmas"; Worksheet 9 第7回 Cameron: "Excerpts from Swan Lake" 第8回 Anshaw: "Elvis Has Left the Building" 第9回 Preparation for individual student presentations 第10回 Student presentations 第11回 Student presentations 第12回 Student presentations 第13回 Student presentations; course review 第14回 Test 2 第15回 Typed reports due	
進め方	Following the introductory weeks of background lectures to provide a context, a series of fifteen short stories will be studied in chronological order. The class will follow a lecture-discussion format, and students will be required to actively participate in the class discussions.		
テキスト	Students will find An Outline of American Literature by Peter B. High very useful in this class.	参考文献	"The Tell Tale Heart" (Edgar Allan Poe) "Young Goodman Brown" (Nathaniel Hawthorne) "The Village Singer" (Mary E. Wilkins)
評価方法	Quizzes:30% Oral Presentations:25% Final Written Report:25% Attendance and Participation:20%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
アメリカの女性作家の短編小説を読む		池田 孝一 (いけだ こういち)	
ねらい	19世紀から20世紀にかけて活躍したアメリカの女性作家イーディス・ウォートンの短編・中編小説を中心に、彼女の前後に生きた他の女性作家の短編小説も精読する。主として女性を中心とする中編・短編小説を翻訳を利用して読み進める一方、一部の作品を原文でゆっくり味わいながら読む。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション 第2回 原文講読 (1)・イーディス・ウォートンの短編小説(1) 第3回 原文講読 (2)・同上(2) 第4回 原文講読 (3)・同上(3) 第5回 原文講読 (4)・同上(4) 第6回 原文講読 (5)・同上(5) 第7回 原文講読 (6)・同上(6) 第8回 原文講読 (7)・同上(7) 第9回 原文講読 (8)・同上(8) 第10回 原文講読 (9)・同上(9) 第11回 原文講読 (10)・同上(10) 第12回 原文講読 (11)・同上(11) 第13回 原文講読 (12)・同上(12) 第14回 原文講読 (13)・同上(13) 第15回 前期のまとめの討論	<p>【後期】</p> 第1回 原文講読 (14)・ウォートンの中編小説(1) 第2回 原文講読 (15)・同上(2) 第3回 原文講読 (16)・オールコット 第4回 原文講読 (17)・ジュエット(1) 第5回 原文講読 (18)・同上(2) 第6回 原文講読 (19)・ショパン(1) 第7回 原文講読 (20)・同上(2) 第8回 原文講読 (21)・同上(3) 第9回 原文講読 (22)・フリーマン 第10回 原文講読 (23)・ギルマン(1) 第11回 原文講読 (24)・同上(2) 第12回 原文講読 (25)・同上(3) 第13回 原文講読 (26)・キャザー(1) 第14回 原文講読 (27)・同上(2) 第15回 全体のまとめと討論	
進め方	テキスト(英文・和文)を精読する。毎回レポーターは担当作品について発表し、全員でそれに関して意見を述べ合う。年末には期末課題レポート(卒論)を提出してもらう。		
テキスト	英文:プリント。 翻訳:イーディス・ウォートン『幽霊』(作品社)及びプリント。	参考文献	授業時に適宜指示
評価方法	平常点:60% 期末課題レポート:40%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
'Roman Fever' を通して読みとる複数の「真実」		遠藤 恵子 (えんどう けいこ)	
ねらい	「真実はただ一つ」と名探偵コナンは叫ぶが、実は「真実」はどの視点で見るとによって変わってくる。'Roman Fever' を読みながら視点の転換による「真実」の反転を考えていく。主人公の二人の女性の心に同化しながら、作品に内包される社会批判にも目を向けたい。またビデオ鑑賞を通して、その時代の雰囲気やウォートンのほかの作品に親し		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 'Roman Fever' 作者、時代背景の説明 第3回 作品精読 第4回 作品精読 第5回 作品精読 第6回 作品精読 第7回 作品精読 第8回 作品精読 第9回 作品精読 第10回 作品精読 第11回 ここまでの感想、 第12回 ビデオ鑑賞 第13回 評論紹介 第14回 評論紹介 第15回 まとめ	【後期】 第1回 前期の復習 第2回 paperの書き方について説明 (引用の仕方) 第3回 読解と解説 第4回 読解と解説 第5回 読解と解説 第6回 読解と解説 第7回 読解と解説 第8回 アウトラインについて説明 第9回 読解と解説 第10回 読解と解説 第11回 読解と解説 第12回 アウトライン発表 第13回 アウトライン発表 第14回 paperについての質疑応答 第15回 全体を通してのまとめ	
進め方	前期はテキストを精読して英文の理解に努めます。ウォートンのほかの作品や評論も読んでいきます。(毎回全員必ずあたります。) 後期は事前に決めたいいくつかのテーマにそって担当を決め、解説してもらいます。その後全員でそのテーマについて質疑応答を行い、議論を深めます。		
テキスト	Edith Wharton, Roman Fever	参考文献	必要に応じて教室で指示する
評価方法	前期テスト:10% 後期paper:70% 発表など平常点:20%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
20世紀アメリカ演劇——Tennessee Williams を読む		大森 裕二 (おおもり ゆうじ)	
ねらい	Tennessee Williams の二つの代表作を原文で精読します。英語の口語表現に親しみながら英語の読解力と文学作品の鑑賞力を養うことが大目標です。映画を観たりCDを聴いたりした後に、友人と感想を語り合うことはとても楽しいものです。演劇の場合も同様です。楽しみながら人間観や世界観を深めることができると幸いです。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 <i>The Glass Menagerie</i> 第3回 <i>The Glass Menagerie</i> 第4回 <i>The Glass Menagerie</i> 第5回 <i>The Glass Menagerie</i> 第6回 <i>The Glass Menagerie</i> 第7回 <i>The Glass Menagerie</i> 第8回 <i>The Glass Menagerie</i> 第9回 <i>The Glass Menagerie</i> 第10回 <i>The Glass Menagerie</i> 第11回 <i>The Glass Menagerie</i> 第12回 <i>The Glass Menagerie</i> 第13回 作品論を読む1 第14回 作品論を読む2 第15回 前期期末試験	【後期】 第1回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第2回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第3回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第4回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第5回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第6回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第7回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第8回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第9回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第10回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第11回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第12回 <i>A Streetcar Named Desire</i> 第13回 作品論を読む1 第14回 作品論を読む2 第15回 後期期末試験・レポート提出	
進め方	予め分担を決め、輪読形式で進めます。担当者には音読・訳読をしてもらい、語学的に注意すべき点や内容についてのコメントをしてもらいます。それを皆で議論しながら検討していきます。テスト未受験、レポート未提出、及び出席数が全授業数の3分の2以上に達しない場合は、下記の評価方法に関わらず不合格となりますので注意してください。		
テキスト	Tennessee Williams, <i>The Glass Menagerie</i> (NY: New Directions, 1999)及び <i>A Streetcar Named Desire</i> (NY: New Directions, 2004)	参考文献	Harold Bloom, <i>Bloom's How to Write About Tennessee Williams</i> (Chelsea House, 2009)
評価方法	前期期末試験:20% 後期期末試験:20% 学年末レポート:20% 出席状況および平常点:40%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
アメリカ詩を読む		齋藤 修三 (さいとう しゅうぞう)	
ねらい	20世紀アメリカ詩を中心に、現代の様々な局面を切り取った英語詩の魅力を味わう。単に知識を得るに留まらず、同じ時代を生きた諸君の批判精神や表現力が、詩と共振する中で少しずつ「開かれていく」ような場を作り出したい。卒論は、2年間の英米文化・文学体験の中から各自テーマを選択、リサーチ・問い・論証という論文作成の課題に取り組む。		
授業計画	【前期】 第1回 2限導入～Dickinson 3限戦後アメリカ詩概説 第2回 2限テキスト講読、Dickinson 3限ビート詩 第3回 2限テキスト講読、Dickinson 3限ビート詩 第4回 2限テキスト講読、Whitman 3限ビート詩 第5回 2限テキスト講読、Whitman 3限他の白人男性詩 第6回 2限テキスト講読、Whitman 3限白人女性詩概説 第7回 2限モダニズム詩概説 3限白人女性詩 第8回 2限テキスト講読、モダニズム詩 3限白人女性詩 第9回 2限同上 3限マイノリティ詩概説 第10回 2限同上 3限マイノリティ男性詩 第11回 2限同上 3限同上 第12回 2限同上 3限同上 第13回 2限同上 3限まとめ 第14回 2限まとめ 3限夏合宿要項 第15回 前期まとめ	【後期】 第1回 2限マイノリティ女性詩概説 3限テキスト講読 第2回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第3回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第4回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第5回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第6回 2限21世紀アメリカ詩最前線 3限テキスト講読 第7回 2限21世紀アメリカ詩最前線 3限卒論指導 第8回 2限21世紀アメリカ詩最前線 3限卒論指導 第9回 2・3限卒論指導 第10回 2・3限卒論指導 第11回 2・3限卒論指導 第12回 2・3限卒論指導 第13回 2・3限卒論指導 第14回 2・3限卒論合評会 第15回 2・3限卒論合評会	
進め方	入門なので、詩を読んだことのない人でも大丈夫。ただし、リポーターによる詩やテキストの読解と全員参加のディスカッションが中心となるので、受身の授業態度でなく、積極的な授業参加を通じ、自分の知性や感性をさらに磨きたいと考える学生に向いている。		
テキスト	榎木伸明『卒論を書こう』三修社、およびこちらでプリントを準備。	参考文献	随時紹介
評価方法	夏合宿プレゼン&卒論:50% リポーター回数:20% 出席・議論への参加度:20% メールレポート回数:10%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
トニ・モリスンの世界－ <i>BeLoved</i> を読む－		田中 芳子 (たなか よしこ)	
ねらい	1993年ノーベル文学賞を受賞したアメリカ黒人女性作家トニ・モリスンの <i>BeLoved</i> を読みます。なぜ主人公の女奴隷は、最も大切な我が子を殺さなければならなかったのか？ジグソーパズルのような作品を丹念に読み解いていきます。一步一步踏みしめながら行く山登りのように、苦しみの向こうにある大きな充実感・達成感を是非味わって下さい。		
授業計画	【前期】 第1回 作者、作品解説他 第2回 ビデオ鑑賞と解説 第3回 読解と解説：テキスト1章 第4回 読解と解説：テキスト1章 第5回 読解と解説：テキスト2章 第6回 読解と解説：テキスト3章 第7回 読解と解説：テキスト3章 第8回 読解と解説：テキスト4章、討論：1・2・3章 第9回 読解と解説：テキスト5章、討論：4・5章 第10回 読解と討論：テキスト6章 第11回 読解と討論：テキスト7章 第12回 読解と解説：テキスト8章 第13回 討論：6・7章 第14回 討論：8章 第15回 討論：前期を振り返って	【後期】 第1回 ガイダンス：レポート提出と後期について 第2回 指導：後期発表について、解説：時代背景について 第3回 発表：テキスト9章（学生による、以下26-1まで同） 第4回 発表：テキスト10・11・12章 第5回 発表：テキスト13・14・15-1章 第6回 発表：テキスト15-2・16・17章 第7回 発表：テキスト18・19-1章 第8回 発表：テキスト19-2章 第9回 発表：テキスト19-3・20章 第10回 発表：テキスト21・22・23章 第11回 発表：テキスト24・25章 第12回 発表：テキスト26-1章、読解と解説：26-2章 第13回 読解と解説：テキスト26-3章 第14回 読解と解説：テキスト26-4・27章・エピソード 第15回 レポート提出と発表	
進め方	講義及び学生の皆さんによる発表と、その中で見出した意見を交換しあうディスカッション等で進めてゆきます。その他ビデオ鑑賞等、作品に関わる情報にも出来るだけ触れてゆきたいと思います。		
テキスト	Toni Morrison, <i>BeLoved</i> (A Plume Book)	参考文献	図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照して下さい。加えて必要に応じ授業中に指示します。
評価方法	前期レポート:25% 後期レポート(卒論):50% 各自の発表など平常点:25%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
アメリカ南部女性作家を読む		鶴見 典子 (つるみ のりこ)	
ねらい	作品を通して、読解力と鑑賞力を高め、あわせて異文化への認識を深めること。作家が作品にこめた意図やその精神性を見つめながら、お互いに今まで見えなかったものを発見し、思考力、想像力、感性を磨き、自分の考えを構築し、適切に表現出来る能力を養うこと。		
授業計画	【前期】 第1回 アメリカ南部について、作家について。 第2回 "the Congress Street" 第3回 "the physical awareness of the word" 第4回 "the voice of the story or the poem" 第5回 "the secret" 第6回 "David school" 第7回 "Carnegie Library" 第8回 "a religious-minded society" 第9回 "learning to see" 第10回 "Ned Andrews" 第11回 "Baltimore" 第12回 "the sense of humor" 第13回 ビデオを見る 第14回 前期のまとめとpaperについて 第15回 質問の時間	【後期】 第1回 "West Virginia" 第2回 "Ohio" 第3回 "Ifinding a Voice" 第4回 "my inner life" 第5回 "college" 第6回 "Yeats" 第7回 "W.P.A." 第8回 "New York" 第9回 "Golden Apples" 第10回 "human memory" 第11回 短編を読む 第12回 批評を読む 第13回 ビデオを見る 第14回 総仕上げとpaperについて 第15回 質問の時間	
進め方	テキストにそって、講義と演習形式で行う。よく考えて自分の意見・考えを持つことをこころがけて頂きたい。		
テキスト	Eudora Welty, One Writer's Beginnings (Harvard University Press)	参考文献	必要に応じて教室で指示する。
評価方法	前期後期のpaper:50% 発表、小テスト、出席:50%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
〈ナルニア国物語〉を読む		成瀬 俊一 (なるせ しゅんいち)	
ねらい	英国の作家C.S. ルイスの長編ファンタジー小説〈ナルニア国物語 (The Chronicles of Narnia, 7 vols. 1950-56) 〉を研究します。異次元世界を舞台にくりひろげられる善と悪の激しい戦いを描くこの物語を原文で味わい、楽しみながら、登場人物たちが体験する「生きる」ことの不思議さと素晴らしさを分かち合いたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 授業オリエンテーション 第2回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 1 第3回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 2 第4回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 3 第5回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 4 第6回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 5 第7回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 6 第8回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 7 第9回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 8 第10回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 9 第11回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 10 第12回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 11 第13回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 12 第14回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 13 第15回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 14	【後期】 第1回 夏期課題口頭発表(Prince Caspianレポート) 第2回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 15 第3回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 16 第4回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 17 第5回 映画視聴: The Lion The Witch and the Wardrobe 第6回 The Magician's Nephew, Chapter 1 第7回 The Magician's Nephew, Chapter 2 第8回 The Magician's Nephew, Chapter 3 第9回 The Magician's Nephew, Chapter 4 第10回 The Magician's Nephew, Chapter 5 第11回 The Magician's Nephew, Chapter 6 第12回 The Magician's Nephew, Chapter 7 第13回 The Magician's Nephew, Chapter 8 第14回 The Magician's Nephew, Chapter 9 第15回 The Magician's Nephew, Chapter 10-15まとめ	
進め方	授業1回につき1章ずつ読み進み、作品の問題点に関する討論と部分的な翻訳をします。また、ドラマ版のビデオを毎時間、各章分ずつ視聴します。作品をより深く理解するために、ルイス関係の研究書、ルイス自身による他の著作(エッセイ、書簡、小説)、ルイスの伝記映画(Shadowlands)などの参考資料を随時紹介します。		
テキスト	C. S. Lewis, The Lion, the Witch and the Wardrobe, Prince Caspian, The Magician's Nephew (Harper Collins)	参考文献	コリン・ドゥーリエ『ナルニア国フィールドガイド』(東洋書林) その他、授業中に適宜紹介しませぬ。
評価方法	毎授業時の発表:40% 夏期レポート:10% 学年末レポート:50%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
現代アイルランド小説を読む		舟橋 美香 (ふなはし みか)	
ねらい	アイルランドは、ここ20年で大きな変化を経験しました。そこで、近年に書かれたアイルランドの短篇小説と長篇小説からの抜粋を読み、アイルランド固有の問題と私達が共有する問題を考えていきます。また、20世紀～現代の小説の多様性を楽しむことが出来る力の向上を目指します。とりあげる作家・作品は、現在も活躍中の作家が主になります。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション (アイルランドって?) 第2回 Easter 蜂起～内乱までを描いた映画で学ぶ 第3回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第4回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第5回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第6回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第7回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第8回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第9回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第10回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第11回 'Blood and Water' を読む+アイルランド語入門 第12回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第13回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第14回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第15回 レポートの説明、ドイル原作映画、ディスカッション	<p>【後期】</p> 第1回 レポート返却指導、トビーン『ヒース燃ゆ』翻訳で読む 第2回 『ヒース燃ゆ』ディスカッション&背景説明 第3回 Joseph O' Connorの 'Mothers Are All the Same' を読む 第4回 O' Connorの短編 'Mothers Are All the Same' を読む 第5回 O' Connorの短編 'Mothers Are All the Same' を読む 第6回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第7回 図書館実習 (予定) 第8回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第9回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第10回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第11回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第12回 Lavinまとめ、レポートのまとめ方説明と個別指導 第13回 Angela Bourkeの短篇とその他翻訳作品紹介 第14回 引用の仕方と出典の書きかた指導、ビデオ鑑賞 第15回 レポート回収と本製本作業、まとめ	
進め方	アンソロジーから作品を選んで予習を前提とした演習形式で進めます。前期は、作品を精読し、アイルランドの歴史的背景や文化について、ビデオ等の資料を交えて紹介、解説もする予定です。後期は、グループごとに発表してもらい、ディスカッションします。年度末のレポートに向けて、作品、作家をまとめる方法についても指導します。		
テキスト	Dermot Bolger ed., <i>The Picador Book of Contemporary Irish Fiction</i> , Picador, 1994. 加えて、授業配布プリント。テキスト入手方法は授業で指	参考文献	授業中に随時指示。
評価方法	授業姿勢&前期レポート:40% 年度末提出レポート:60%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
十九世紀末テキストとしての『シルヴィーとブルーノ』		松村 伸一 (まつむら しんいち)	
ねらい	ルイス・キャロルの事実上最後の作品である『シルヴィーとブルーノ』は、長くて構成も複雑なせいか、読者が多いとは言いがたい。本ゼミではこの作品を、児童文学というより、19世紀末テキストとして読んでみたい。1889年刊行のこの物語は19世紀末英国文化の諸問題をいろいろ先取りしているのではないかという仮説を念頭に置きつつ、同書を精読す		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション: ルイス・キャロルについて 第2回 Ch. 1: Less Bread! More Taxes! 第3回 Ch. 2: L' Amie Inconnue 第4回 Ch. 3: Birthday-Presents 第5回 Ch. 4: A Cunning Conspiracy 第6回 Ch. 5: A Beggar's Palace 第7回 Ch. 6: The Magic Locket 第8回 Ch. 7: The Baron's Embassy 第9回 Ch. 8: A Ride on a Lion 第10回 Ch. 9: A Jester and a Bear 第11回 Ch.10: The Other Professor 第12回 Ch.11: Peter and Paul 第13回 Ch.12: A Musical Gardener 第14回 Ch.13: A Visit to Dogland 第15回 前期のまとめと夏休み中の課題について	<p>【後期】</p> 第1回 学生発表: ブックレポート (1) 第2回 学生発表: ブックレポート (2) 第3回 Ch.14: Fairy-Sylvie 第4回 Ch. 15: Bruno's Revenge 第5回 Ch. 16: A Changed Crocodile 第6回 Ch. 17: The Three Badgers 第7回 Ch. 18: Queer Street, Number Forty 第8回 Ch. 19: How to Make a Phlizz 第9回 Ch. 20: Light Come, Light Go 第10回 Ch. 21: Through the Ivory Door 第11回 Ch. 22: Crossing the Line 第12回 Ch. 23: An Outlandish Watch 第13回 Ch. 24: The Frogs' Birthday-Treat 第14回 Ch. 25: Looking Eastward 第15回 卒業レポート発表	
進め方	毎回1章ずつ、担当者を決めて読み進める。担当者には、あらすじ・部分訳・言葉遊びの説明・疑問点などを発表してもらう。夏休みには、作品の背景となる十九世紀末文化に関するブックレポートが、また学年末には卒業レポートが課される。それぞれ授業時に機会を設けて発表してもらう予定。		
テキスト	Lewis Carroll, <i>Sylvie and Bruno</i> . New York: Dover Publications, 1988. 夏休みのブックレポートの課題図書は、自分で本を用意すること。	参考文献	ルイス・キャロル『シルヴィーとブルーノ』ちくま文庫。『アリス』など他の作品も、自分で読むこと。批評書は夏休みの課題リストで紹介する予定。
評価方法	出席:30% 授業への貢献度:10% レポート:60%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
「失われた世代」と F. S. フィッツジェラルド		宮内 華代子 (みやうち かよこ)	
ねらい	『グレート・ギャツビー』(1925)の作者として知られるフィッツジェラルドの作品と研究論文、手紙集を読みます。「失われた世代」の代表的作家、ヘミングウェイとの関連を知り、作品の時代背景、彼の生き方、創作態度、作品のテーマをさぐり、その文学的特質を学びます。		
授業計画	【前期】 第1回 通年授業、論文または翻訳作成のガイダンス 第2回 学生の発表・討論、資料解読・解説、添削指導 第3回 学生の発表・討論、資料解読・解説、添削指導 第4回 学生の発表・討論、資料解読・解説、添削指導 第5回 同上、論文または翻訳作品題目届出 第6回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第7回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第8回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第9回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第10回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第11回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第12回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第13回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第14回 筆記小テスト、論文または翻訳指導 第15回 『グレート・ギャツビー』DVD鑑賞会、感想文提出	【後期】 第1回 グループ研究、資料検索方法図書館ガイダンス 第2回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第3回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第4回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第5回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第6回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第7回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第8回 研究レポート提出、発表・討論、資料解読・解説、添削 第9回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第10回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第11回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第12回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第13回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第14回 筆記小テスト、論文または翻訳指導 第15回 学生が作成した研究論文・翻訳発表会	
進め方	毎回授業の最初に、研究論文からの抜粋による小テスト、解読・解説を行う。テキストは分担した学生の担当者がレポートを作成し、口頭発表と質疑応答により読み進める。年間を通しての課題として、論文作成あるいは本邦未訳の作品の翻訳に取り組み、添削指導を受ける。後期はグループ研究を行う。随時設問に対する記述式解答を作成して提出す		
テキスト	<i>Babylon Revisited and Winter Dreams</i> (研究社) フィッツジェラルド：娘への手紙(三修社)	参考文献	随時紹介
評価方法	卒業論文または翻訳:30% グループ研究レポート:20% 出席・小テスト:20% レポート発表:20% 提出物:10%		

英文学		通年 4 単位	2年
英文学入門		加賀屋 俊二 (かがや しゅんじ)	
ねらい	文学は散文、韻文、演劇、批評の4本柱で立体的に成り立っています。この授業では、英文学の輪郭と研究の方法を学ぶことで、いわば開墾されていない皆さんの固い頭に英文学というクワを入れ、文学的発想という肥料をまき、想像力という雨を降らせ、やがて実果をもたらす創造力ある土壌へと改良することです。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス (レポート、小テスト、出欠席等.) 第2回 文学理解の基礎 (文学の読み方、etc.) 第3回 文学理解の基礎 (人間はなぜ書くのか?) 第4回 文学理解の基礎 (文学の定義と目的) 第5回 文学理解の基礎 (文学に反映するもの、etc.) 第6回 文学理解の基礎 (文学の普遍性、etc.) 第7回 文学理解の基礎 (文学の要素、etc.) 第8回 文学理解の基礎 (文学の形式、レトリック、etc.) 第9回 文学理論 (1) (批評の意義と目的) 第10回 文学理論 (2) (批評の意味と方法) 第11回 文学理論 (3) (マルクス主義理論、etc) 第12回 文学理論 (4) (ロシア・フォルマリズム、etc) 第13回 文学理論 (5) (構造主義理論、etc) 第14回 散文 (1) (小説の起源と成立) 第15回 散文 (2) (チャーサー) レポート (作家論) 提出	【後期】 第1回 散文 (3) (18世紀の小説) 第2回 散文 (4) (19世紀の小説) 第3回 散文 (5) (20世紀の小説) 第4回 韻文 (1) (韻文の形式と歴史的変遷) 第5回 韻文 (2) (詩の技法) 第6回 韻文 (3) (16・17世紀の詩) 第7回 韻文 (4) (18世紀の詩) 第8回 韻文 (5) (ローマン主義の詩) 第9回 演劇 (1) (演劇の起源と変遷) 第10回 演劇 (2) (演劇の形式と分類) 第11回 演劇 (3) (シェイクスピアと同時代人) 第12回 演劇 (4) (ゲイ、シェリダンと同時代人) 第13回 演劇 (5) (アイルランドの演劇) 第14回 フェミニズムと女流文学 (1) 第15回 フェミニズムと女流文学 (2) レポート (作品論) 提出	
進め方	授業開始後10回くらいは、授業の始めに20分位で一流作家の短編や長編の一部、あるいは詩を読み素直な感想を書いてもらい、文学の読み方を知ってもらう。その後、英文学の基礎理論についての授業を行う。授業は配布資料に沿って行う。授業の半分は講義形式、半分は読んだ作品に関する質疑応答やディスカッションなど双方向の授業形式で行う。		
テキスト	特になし (プリントを配布する)。	参考文献	必要に応じてプリント配布する。
評価方法	前期・後期のレポート:60% 小テスト:20% 出席・発表等:20%		

米文学		通年 4 単位	2年
Survey of American Literature (Melody Elliott)		エリオット (ELLIOTT, M. P.)	
ねらい	This class will give students an overview of American literature from its beginnings to the present time. Students will read simplified versions of famous works of American lit. and some original texts, listen to lectures and take notes, analyze, and discuss poetry, short stories, novels, and drama by American authors.		
授業計画	【前期】 第1回 Course Introduction, Earliest American Literature 第2回 Amer. Folklore: Legend of Sleepy Hollow (Irving) 第3回 Slave Narrative: Incidents in the Life (H. Jacobs) 第4回 Pioneer Spirit: Last of the Mohicans (J.F. Cooper) 第5回 Transcendentalism: Leaves of Grass (Walt Whitman) 第6回 Individualism: Poetry (Emily Dickinson) 第7回 Historical Fiction: The Scarlet Letter (Hawthorne) 第8回 Film Report 1 & Amer. Gothic: Short Stories (Poe) 第9回 Romanticism: Moby Dick (Herman Melville) 第10回 Romanticism cont: Little Women (L. M. Alcott) 第11回 Realism: The Adventures of Tom Sawyer (Twain) 第12回 Semester Review 第13回 Mid-term Exam 第14回 まとめ 第15回 まとめ	【後期】 第1回 Lost Gen. & WWI: Short Stories (F.S. Fitzgerald) 第2回 Lost Gen. & WWI: Short Story (Ernest Hemingway) 第3回 Harlem Renaissance: Poetry (Langston Hughes) 第4回 Experimentalism: Poetry (ee cummings) 第5回 Roaring 20s: Poetry (Dorothy Parker) 第6回 Great Dep.: Of Mice & Men (Steinbeck) 第7回 Film Report 2 & Regionalism: Poetry (Robert Frost) 第8回 Regionalism: Streetcar Named Desire (T. Williams) 第9回 Contemp. African Amer: Recitatif (Toni Morrison) 第10回 Contemp. Hispan. Amer: House on Mango St. (Cisneros) 第11回 Contemp. Native Amer: Grass Dancer (Susan Power) 第12回 Grass Dancer cont. (Susan Power) 第13回 Contemp. Asian Amer: Joy Luck Club (Amy Tan) 第14回 Final Exam 第15回 まとめ	
	進め方	This class will be completely in English. It is appropriate for active students with intermediate ability, good attendance, and good study habits. Students must do the weekly readings and notes for homework, and in class, participate actively in group discussions, listen to lectures, ask questions, and take good notes.	
テキスト	There will be weekly prints of the assigned readings. This class will NOT use a textbook.	参考文献	We will study 21 writers during the semester and over 25 works of American Literature by famous authors.
評価方法	Participation:30% Homework:30% 2 short typed film reports :20% 2 exams:20%		

英語圏文学		通年 4 単位	2年
ニュージーランドの作家キャサリン・マンスフィールドを読む		井原 真理子 (いはら まりこ)	
ねらい	皆さんは英語圏文学と聞いて、どんな文学を思い浮かべますか。この授業では、19世紀の末に南半球にあるニュージーランドで生まれ、後にロンドンで活躍した女流作家キャサリン・マンスフィールドの作品を読みます。100年近くも前に書かれた短編集ですが、うら若い女性の微妙な心理を描いて、今の時代に読む皆さんにもとても親しみやすい作品		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 'The Garden Party' を読む 第3回 同上 第4回 同上 第5回 同上 第6回 同上 第7回 'The Doll' s House' を読む 第8回 同上 第9回 同上 第10回 同上 第11回 同上 第12回 同上 第13回 同上 第14回 同上 第15回 前期小論文について	【後期】 第1回 'The Wind Blows' を読む 第2回 同上 第3回 同上 第4回 同上 第5回 'A Cup of Tea' を読む 第6回 同上 第7回 同上 第8回 同上 第9回 同上 第10回 作者キャサリン・マンスフィールドとは 第11回 'A Cup of Tea' 再考 第12回 'The Fly' を読む 第13回 同上 第14回 同上 後期小論文について 第15回 まとめ	
	進め方	まずは原典を熟読し、味わうことが基本です。読みすすむごとにテーマを決めて論じてゆきます。学生には、文章を書いたり、発言したり、発表したりと、積極的な参加を期待します。 辞書は必ず持参しましょう。(下記の参考文献参照のこと。)	
テキスト	Katherine Mansfield. The Doll' s House and Other Stories. Eikosha, 1989. (上島建吉 編注 『詳注 人形の家 他』英光社, 1989年。)	参考文献	『プログレッシブ英和中辞典』(小学館)を推薦します。単語の用法が必ず見つかる素晴らしい辞書です。電子辞書にも入っているので、探してみてください
評価方法	平常点:40% 学期末小論文:60%		

児童文学		通年 4 単位	2年
英国ファンタジーの今昔		成瀬 俊一 (なるせ しゅんいち)	
ねらい	英国児童文学のファンタジーの誕生と発展の軌跡を、代表的な作品を題材にたどります。魔法や別世界といった道具立てを用いるこの文学形式は、いかなる可能性を秘めているのか？作家たちはいかなるメッセージを作品に託しているのだろうか？受講者は実際に作品を読み、講師や他の受講者たちによる作品の解釈を検証することが求められます。		
授業計画	【前期】 第1回 授業オリエンテーション/講義：イギリス児童文学の誕生 第2回 講義：イギリス児童文学のファンタジーの誕生と発展 第3回 講義：ルイス・キャロルの人生と作品 第4回 研究発表：『不思議の国のアリス』(1865) 第5回 映画視聴：『不思議の国のアリス』 第6回 講義：G・マクドナルドと『王女とゴブリン』(1972) 第7回 講義：E・ネズビットと『砂の妖精』(1902) 第8回 講義：ケネス・グレアムの人生と作品 第9回 研究発表：『たのしい川べ』(1908) 第10回 講義：J・M・バリーの人生と作品 第11回 研究発表：『ピーター・パン』(1911) 第12回 講義：A・A・ミルンの人生と作品 第13回 研究発表：『クマのプーさん』(1926) 第14回 講義：P・L・トラヴァースの人生と作品 第15回 研究発表：『メアリー・ポピンズ』(1934)	【後期】 第1回 講義：J・R・R・トールキンの人生と作品 第2回 研究発表：『ホビットの冒険』(1937) 第3回 映画視聴：『ホビットの冒険』 第4回 講義：ルーマー・ゴッデンの人生と作品 第5回 研究発表：『人形の家』(1947) 第6回 講義：C・S・ルイスの人生と作品 第7回 研究発表：『ライオンと魔女』(1950) 第8回 講義：メアリー・ノートンと『床下の小人たち』(1952) 第9回 講義：『フィリパ・ピアス』の人生と作品 第10回 研究発表：『トムは真夜中の庭で』(1958) 第11回 講義：M・ボンドと『くまのパディントン』(1958) 第12回 講義：R・ダールと『チョコレート工場秘密』(1964) 第13回 講義：J・K・ローリングの人生と作品 第14回 研究発表：『ハリー・ポッターと賢者の石』(1997) 第15回 試験	
進め方	まず、各作家・作品の背景に関する講義をし、作品原文の一部（プリントを配付）を精読をします。それから、事前に配付するプリントにもとづいて、作品の問題点について討論を行います。映像化されている作品はその一部（または全部）をクラスで視聴します。学年末に試験を実施します。		
テキスト	作品（地元の図書館で借りるか書店で購入）を原書または翻訳で各自読んで予習すること。部分精読用の英文テキストは講師がプリントで用意します。	参考文献	本多英明他編著『たのしく読める英米児童文学』（ミネルヴァ書房）、桂宥子他編著『英米児童文学の黄金時代』（ミネルヴァ書房）
評価方法	研究発表：30% 期末試験：70%		

比較文学		通年 4 単位	2年
文学作品を「比較文学的」に読む		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	ある作品をより深く理解するのに、他作品との「比較」が有効であることを、事例に即して見ていく。文学作品を「比較文学的」に読むことの面白さを味わう。授業では、日本の優れた文学作品のうち、海外の文学や文化（絵画や音楽など）との深い交流・影響関係をもつものを選び、日本文学を世界的な視野の中に位置づける。		
授業計画	【前期】 第1回 「春のうらら」100周年 (p. 127)、滝廉太郎と明治の唱歌 第2回 時は春、日は朝 (p. 129)、上田敏とブラウニング 第3回 いざくちづけむ君が面 (p. 14)、明治の訳詩集「海潮音」 第4回 レモンの木は花さき (p. 34)、森鷗外とゲーテ 第5回 卯の花のにほふ垣根 (p. 27)、明治唱歌と西洋音楽 第6回 夕暮れの立原道造 (p. 18)、立原道造の詩と建築 第7回 五月のなかへ死にゆく母 (p. 20)、斉藤茂吉の短歌 第8回 斉藤茂吉の「死にたまふ母」と、その英訳 第9回 ゴッホの糸杉 (p. 22)、宮澤賢治の「春と修羅」 第10回 英訳で読む宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」 第11回 雲の峯から月の山へ (p. 41)、芭蕉の「奥の細道」 第12回 夏の入り日と海と川 (p. 43)、英訳された芭蕉の俳句 第13回 夏の夜明けの二人 (p. 163)、清少納言「枕草子」その1 第14回 たわわの房の青葡萄 (p. 51)、金素雲の「朝鮮詩集」 第15回 韓国の空の赤とんぼ (p. 55)、韓国の詩人たち	【後期】 第1回 夕空はれて (p. 73)、日本の唱歌と英米の民謡 第2回 月光の詞華集 (p. 311)、清少納言「枕草子」のその2 第3回 星の林のさやかなる (p. 75)、スペインの神秘思想 第4回 夜の底からの歌 (p. 77)、旧約聖書の雅歌 第5回 秋のあひびき (p. 329)、萩原朔太郎の詩の世界 第6回 落ち葉踏む足音 (p. 197)、フランス詩の翻訳 第7回 音読する少年少女 (p. 187)、イザベラ・バードの旅 第8回 ハイランドの桃源郷 (p. 69)、スコットランドの夏目漱石 第9回 冬来たる (p. 210)、俳句の中の時雨と木枯し 第10回 夕紅葉の歌 (p. 334)、文部省唱歌の世界 第11回 夜色楼台雪万家 (p. 103)、与謝蕪村の詩と絵画 第12回 雪の夜の炭火の色 (p. 229)、漱石の小説の世界 第13回 愛する者への挽歌 (p. 80)、宮澤賢治と妹トシ 第14回 キックキックトントン (p. 232)、宮澤賢治の童話 第15回 雪山に入る日 (p. 234)、斉藤茂吉の冬の歌	
進め方	季節にそったテーマをとりあげて、順次読んでいく。テキスト中の関連箇所も適宜あわせて扱う。関係する資料をできるだけ多く参照する。毎回授業の終りに、200字程度のコメントを提出してもらう。		
テキスト	芳賀徹：『詩歌の森へ』（中公新書）	参考文献	芳賀徹：『みだれ髪系の系譜』、『文化の往還』、『詩の国詩人の国』。
評価方法	授業中に書くコメント：60% 前・後期末のレポート：40%		

英文法		通年 4 単位	2年
細かい意味の違いまで区別できるようになるための英文法		中本 恭平 (なかもと きょうへい)	
ねらい	ひとつの文法形式にはひとつの意味がある。形式が同じなら意味に共通点があり、逆に形式が異なれば意味も異なる。互いに関連しあう文法形式を比較しながら、それぞれの文法形式が持つ意味を確認していく。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 前期ガイダンス 第2回 時制 (空間と時間) 第3回 単純現在と単純過去 第4回 単純現在と現在進行 第5回 現在進行と現在完了 第6回 現在完了と現在完了進行 第7回 単純過去と過去完了 第8回 話法と時制の一致 第9回 時制のまとめ 第10回 「未来」 第11回 法助動詞 [1] 第12回 法助動詞 [2] 第13回 法助動詞 [3] 第14回 前期の復習 第15回 前期試験	<p>【後期】</p> 第1回 後期ガイダンス 第2回 「使役動詞」とされる動詞群 第3回 受動文 第4回 不定詞と動名詞 第5回 定冠詞と不定冠詞 第6回 可算と不可算 第7回 There 構文 第8回 不定代名詞 第9回 形容詞 (限定と非限定) 第10回 関係詞 (制限と非制限) 第11回 否定表現 第12回 呼応 第13回 その他の文法項目 第14回 後期の復習 第15回 後期試験	
進め方	毎時間プリントを配布し、プリントに沿って講義する形で授業を進める。なお、本講座では、文の書き換えや空所補充などの練習や、各種検定試験対策の練習などはいっさい行わない。例年受講者が多く、大教室での講義になることが予想される。私語雑談、授業中の教室の出入りなど、授業の妨げになる行為は禁止する。また、出席は厳密に取る。		
テキスト	市販のテキストは使用しない。	参考文献	短大図書館備え付けの「授業別・指定参考図書リスト」を参照。
評価方法	試験:80% 平常点:20%		

英語音声学		通年 4 単位	2年
英語発音の基礎理論と実践		狩野 郁子 (かのう いくこ)	
ねらい	英語の母音と子音の基礎理論を学習し、的確な英語発音の実践を目指す。聴き取り練習を通し、また、日本語音との対照分析により、理論を実践へ導く。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Introduction to the course 第2回 Vowels 第3回 Lecture on front vowels and exercises 第4回 Lecture on central vowels and exercises 第5回 Lecture on back vowels and exercises 第6回 Wrap-up on vowels 第7回 Quiz on vowels 第8回 Introduction to consonants 第9回 Lecture on stops and exercises 第10回 Lecture on fricatives and exercises 第11回 Lecture on fricatives and exercises 第12回 Lecture on affricates and exercises 第13回 Lecture on affricates and exercises 第14回 Term Oral Examination 第15回 Term Written Examination	<p>【後期】</p> 第1回 Introduction to the course 第2回 Review of vowels and consonants 第3回 Lecture on nasals and exercises 第4回 Lecture on liquids and exercises 第5回 Lecture on semi-vowels and exercises 第6回 Wrap-up on all the consonants 第7回 Quiz on consonants 第8回 Wrap-up on all the vowels and consonants 第9回 Points in pronouncing a sentence 第10回 Points in pronouncing sentences 第11回 Points in pronouncing sentences 第12回 Points in pronouncing sentences 第13回 Wrap-up 第14回 Term Oral Examination 第15回 Term Written Examination	
進め方	母音、子音の順に、まずは基礎的な理論を講義し、それぞれの項目ごとに、聴き取り作業、発音練習を行い、的確な英語発音を目指す。		
テキスト	Sounds Right! Sounds Good! 村川久子著 マクミラン ランゲージハウス	参考文献	随時紹介していく。
評価方法	Participation and Quizzes:30% Term Examinations:70%		

言語学概論		通年 4 単位	2年
ことばの諸様相		狩野 郁子 (かのう いくこ)	
ねらい	言語学の基本分野である、形態論、統語論、意味論、音声学・音韻論を、英語を基軸に基礎から学習する。様々な言語を観察し、表面的な相違をこえた、言語間に横たわる共通性の認識を促す。今まで聞いたことのないような言語を分析対象とし、考察することにより、母国語である日本語についての理解をも、より一層深めていただくことを望む。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Introduction to the class 第2回 Morphology: classes of words 第3回 Morphology: rules of word formation 第4回 Morphology: rules of word formation 第5回 Morphology: word coinage 第6回 Exercises 第7回 Exercises 第8回 Quiz on morphology 第9回 Morphosyntax 第10回 Morphosyntax 第11回 Syntax 第12回 Tree diagrams 第13回 Exercises 第14回 Wrap-up 第15回 Term exam	<p>【後期】</p> 第1回 Introduction to the course 第2回 Syntax of English sentences 第3回 Syntax of Japanese sentences 第4回 Syntax of both languages 第5回 Contrastive analysis on syntax 第6回 Contrastive analysis on syntax 第7回 Contrastive analysis on vocabulary 第8回 Contrastive analysis on vocabulary 第9回 Tense and aspect 第10回 Tense and aspect 第11回 Tense and aspect 第12回 Skills in translating 第13回 Skills in translating 第14回 Wrap-up 第15回 Term exam	
進め方	講義を中心にすすめていくが、各講義内容に対し、随時exercises, quizzesを課し、知識の確認をしていく。		
テキスト	プリント使用。学生は、A4サイズの入るファイルを一冊用意すること。	参考文献	授業時に随時指示する。
評価方法	Participation, In-class tasks and Quizzes:30% Term Examination:70%		

英語学概論		通年 4 単位	2年
言語学としての英語学		猪熊 作巳 (いのくま さくみ)	
ねらい	「英語史」「音声学・音韻論」「形態論」「統語論」「意味論」「語用論」「社会言語学」といった、言語学の主だった領域を一通り概観し、英語についてより幅と奥行きのある知識を得る。言語学的視点から他言語との比較を行うことで、単なる『外国語の勉強』ではなく『人間言語の研究』として英語と向き合う姿勢を身に付ける。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス 第2回 言語学とは・英語学とは 第3回 英語史(1) 第4回 英語史(2) 第5回 形態論(1) 第6回 形態論(2) 第7回 語の意味論 第8回 中間試験 第9回 統語論(1) 第10回 統語論(2) 第11回 統語論(3) 第12回 統語論(4) 第13回 文の意味論(1) 第14回 文の意味論(2) 第15回 前期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 ガイダンス 第2回 語用論(1) 第3回 語用論(2) 第4回 音声学・音韻論(1) 第5回 音声学・音韻論(2) 第6回 社会言語学1:地域方言(1) 第7回 社会言語学1:地域方言(2) 第8回 中間試験 第9回 社会言語学2:社会方言(1) 第10回 社会言語学2:社会方言(2) 第11回 心理言語学:言語習得(1) 第12回 心理言語学:言語習得(2) 第13回 応用言語学:第二言語習得・外国語学習(1) 第14回 応用言語学:第二言語習得・外国語学習(2) 第15回 後期末試験	
進め方	原則的に、テキストの章立てに沿って2週間で1章分を終えるペースで進めていく。主に講義形式となるが、しばしば理解確認のためのエクセサイズなどに取り組んでもらう予定である。テキストは英文で書かれているので、十分な予習を期待する。		
テキスト	影山太郎他『First Steps in English Linguistics (英語言語学の第一歩)』第2版。くろしお出版。2004.	参考文献	適宜紹介する。
評価方法	出席状況:20% 試験:60% 課題その他:20%		

英語史		通年 4 単位	2年
英語の成長と変化の歴史：英語の辿った歴史を内面史・外面史の両観点から概観し、印欧語族に属する英語への理解を深める。		片見 彰夫 (かたみ あきお)	
ねらい	goodの比較級がなぜbetterか、toothの複数形はどうしてteethなのかということが頭をよぎったことはありませんか。さらに、独仏語と似た単語が英語に存在するのはなぜなのでしょう。本講義では英語史の知識を得ることによって、様々な文化的要因が言葉に影響を及ぼしていることを見出し、英語学習が一層実り多いものになることを目指します。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス：英語史を学ぶ意義について 第2回 古英語の系譜：インドヨーロッパ語とゲルマン語(1) 第3回 古英語の系譜：インドヨーロッパ語とゲルマン語(2) 第4回 古英語の背景(1) 第5回 古英語の背景(2) 第6回 古英語の文字と発音 第7回 古英語の諸方言 第8回 古英語の語彙：ケルト語の影響 第9回 古英語の語彙：ラテン語、古ノルド語の影響 第10回 古英語の形態論 第11回 古英語の文法(1) 第12回 古英語の文法(2) 第13回 古英語作品読解と文法：Beowulf を読む(1) 第14回 古英語作品読解と文法：Beowulf を読む(2) 第15回 試験	【後期】 第1回 ノルマン人による征服の歴史的背景 第2回 ノルマン人による征服の言語的背景 第3回 中英語の語彙：フランス語、ラテン語等からの借入 第4回 中英語の文法特徴と、英語の復活 第5回 中英語作品読解と文法：Chaucer を題材に 第6回 中英語作品読解と文法：Morte D' Arthur を題材に 第7回 近代英語概観：標準英語の成立 第8回 英訳聖書にみられる英語の通時的変化 第9回 近代英語の読解と文法：Shakespeare を題材に(1) 第10回 近代英語の読解と文法：Shakespeare を題材に(2) 第11回 18世紀英語概観：規範文法の始まりと、文法の特徴 第12回 18世紀小説の読解と文法：Henry Fieldingを題材に 第13回 アメリカ英語の成立と発展(1) 第14回 アメリカ英語の成立と発展(2) 第15回 試験	
進め方	講義が中心ですが、受講者の理解を深めるため、BBC製作の英語史に関する番組や中世英語英文学作品がテーマとなっている映画等の視聴覚教材を適宜活用します。グループワークや自主リサーチも行うことで、受講生全員が自主的に楽しみながら学べるよう配慮します。丁寧に分かりやすく指導しますので心配は無用です。積極的学習意欲を高く評価します		
テキスト	Gary Buck, The History of the English Language in Simplified English. その他毎時補助教材として自作ハンドアウトを配布。	参考文献	短期大学図書館カウンターにある2010年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	前期定期試験:35% 後期定期試験:35% レポート:15% 小テスト、発表:15%		

意味論		通年 4 単位	2年
英語意味論入門		仁科 弘之 (にしな ひろゆき)	
ねらい	意味は母語の意識外にあり外国語文の解釈等で初めて思考の対象となります。文の意味は統語構造(文法)に依存している一方、意味計算自体は自己完結しています。統語的構成素と部分的な意味が対応していることを理解し、初歩的な意味計算ができるようになることを目標とします。(予定や内容は理解度により変わる可能性があります。)		
授業計画	【前期】 第1回 意味論とは何か 第2回 文と命題 第3回 名詞句の意味(1) 第4回 冠詞の意味 第5回 名詞句の意味(2) 第6回 述語の意味:動詞(1) 第7回 述語の意味:動詞(2) 第8回 述語の意味:普通名詞と形容詞 第9回 相と時制(1) 第10回 相と時制(2) 第11回 命題論理入門(1) 第12回 命題論理入門(2) 第13回 述語論理入門(1) 第14回 述語論理入門(2) 第15回 復習とまとめ(I)	【後期】 第1回 複雑な名詞句の意味論(1) 第2回 複雑な名詞句の意味論(2) 第3回 関係代名詞の意味論(1) 第4回 関係代名詞の意味論(2) 第5回 関係副詞の意味論 第6回 Yes-No疑問の意味論(1) 第7回 Yes-No疑問の意味論(2) 第8回 Wh疑問の意味論(1) 第9回 Wh疑問の意味論(2) 第10回 否定の意味論(1) 第11回 否定の意味論(2) 第12回 量化詞の意味論(1) 第13回 量化詞の意味論(2) 第14回 量化詞の意味論(3) 第15回 復習とまとめ(II)	
進め方	「文法」や「意味」という抽象的な世界に興味の有る方に向いています。講義に演習を加え詳説します。英文テキスト予め読んで考え、理解に努めてきて下さい。講義ノートをしっかりとのこと。(この意味で私語は厳禁。) 語法の詳しい辞書と多色の筆記具があると便利。欠席が多いと単位修得は困難でしょう。集中力が重要です。		
テキスト	各回にプリント(英文中心)配布しますので、特に初回に必ず出席のこと。教科書の連絡もします。概念や用語の解説プリント(日本語)を配布。	参考文献	文献解題を配布し、講義時に随時紹介する。
評価方法	出席度:30% 講義の理解度:20% レポート(問題演習):50%		

異文化間コミュニケーション		通年 4 単位	2年
異文化間コミュニケーション		横溝 環（よこみぞ たまき）	
ねらい	本講義は、異文化間コミュニケーションに関する基本的理論を学ぶとともに、自己および他者への気づきを高め、その上で、自他の尊重が相互になされるようなコミュニケーションを探求していくことを目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション、文化とは 第2回 コミュニケーションとは 第3回 自分とは 第4回 価値観と文化的特徴① 第5回 価値観と文化的特徴② 第6回 価値観と文化的特徴③ 第7回 アイデンティティ 第8回 ステレオタイプと偏見① 第9回 ステレオタイプと偏見② 第10回 言語コミュニケーション① 第11回 言語コミュニケーション② 第12回 ポライトネス① 第13回 ポライトネス② 第14回 まとめ 第15回 試験	【後期】 第1回 非言語コミュニケーション① 第2回 非言語コミュニケーション② 第3回 カルチャーショックと文化的調節① 第4回 カルチャーショックと文化的調節②：映像から 第5回 カルチャーショックと文化的調節③：映像から 第6回 協調的問題解決 第7回 異文化コミュニケーションスキル 第8回 日米コミュニケーションスタイル比較①：映像から 第9回 日米コミュニケーションスタイル比較②：映像から 第10回 メディアの中の文化① 第11回 メディアの中の文化② 第12回 文化心理学的な視点から物事を捉えてみよう① 第13回 文化心理学的な視点から物事を捉えてみよう② 第14回 まとめ 第15回 試験	
進め方	講義とともに、それに関連したエクササイズを行なう。さらに、それらをグループ討議または全体討議へとつなげていく（受講者の積極的参加を望む）。レスポンスシートを授業の最後に毎回提出してもらう。		
テキスト	特に定めず、配布資料を活用する。	参考文献	八代京子ほか(2009)『異文化トレーニング【改訂版】』（三修社）その他、適宜紹介する。
評価方法	出席:20% レスポンス・提出物:20% 積極的参加度:20% 試験:40%		

英国史		通年 4 単位	2年
イギリスの過去を知り、現在を知る		甲斐 祥子（かい しょうこ）	
ねらい	各人が抱く多様なイギリス像—議会制の母国、伝統のある美しい国、先端的な若者文化の国、フーリガンの国等々—これらはずべて、イギリスの歴史に根ざしている。歴史を知ることで、表面的なイギリス像の下に見えてくるものがある。本講義では、英国史を通じ、過去が現在をいかに形作っているかを洞察し、イギリスへの理解を深めることをめざす。		
授業計画	【前期】 第1回 序論—イギリス史を学ぶとは？ 第2回 イギリスの歴史のはじまり 第3回 アングロ・サクソン民族とイギリスの基礎 第4回 イングランド王国の形成 第5回 ノルマン人の征服1 第6回 ノルマン人の征服2 第7回 イングランド封建国家 第8回 アンジュー帝国 第9回 イギリス立憲政治の基礎1 第10回 イギリス立憲政治の基礎2 第11回 島国国家の形成 第12回 百年戦争と封建社会の変容1 第13回 百年戦争と封建社会の変容2 第14回 ばら戦争とチューダー朝の創始 第15回 まとめ	【後期】 第1回 イングランド宗教改革1 第2回 イングランド宗教改革2 第3回 エリザベス時代の光と影 第4回 イギリス革命1 第5回 イギリス革命2 第6回 イギリス革命3 第7回 名誉革命体制 第8回 植民地帝国の形成 第9回 二重革命の時代 第10回 改革の時代から繁栄の時代へ 第11回 大英帝国の繁栄と衰退 第12回 帝国主義の時代 第13回 2つの世界大戦 第14回 新しい時代のイギリス 第15回 まとめ	
進め方	時代順にテーマを設定し、1つのテーマを1～3回かけて論ずる。テキストを読み進めるという形式はとらないが、参考資料および補助教材として用いるので、授業時にはテキストを持参すること。		
テキスト	指昭博『図説 イギリスの歴史』（河出書房新社）	参考文献	『（世界歴史大系）イギリス史1、2、3』（山川出版社）、『（新版世界各国史11）イギリス史』（山川出版社）、『イギリスの歴史』（有斐閣）
評価方法	試験:40% レポート:30% 出席:30%		

米国史		通年 4 単位	2年
アメリカ史概説		石井 朋子 (いしい ともこ)	
ねらい	アメリカという国がどのように建設され、どのような経緯で現在に至ったかを、グローバルな視点を取り入れながら解説していく。あわせて、歴史を学ぶ意義や楽しさを感じてもらいたい。		
授業計画	【前期】 第1回 はじめに——歴史を学ぶということ 第2回 1492年以前のアメリカ大陸と世界 第3回 コロンブスによる「新大陸」の発見 第4回 イギリスによる北アメリカ大陸の植民 第5回 「丘の上の町」——ピューリタンによる植民地建設 第6回 他のヨーロッパ諸国の植民活動とイギリス領土の拡大 第7回 陰悪化するイギリスとアメリカ植民地の関係 第8回 独立戦争の勃発と独立宣言 第9回 アメリカ建国期——共和国建設の模索 第10回 西方膨張とマニフェスト・デスティニー 第11回 奴隷制度と南北間の対立 第12回 南北戦争 第13回 南部の再建 第14回 まとめ 第15回 定期試験	【後期】 第1回 大西部開拓とアメリカ先住民の運命 第2回 工業化、都市化するアメリカ社会 第3回 新移民の流入 第4回 米西戦争——海外膨張の始まり 第5回 革新主義の時代 第6回 第一次世界大戦とアメリカ 第7回 1920年代のアメリカ 第8回 大恐慌とニューディール政策 第9回 第二次世界大戦とアメリカ 第10回 冷戦下のアメリカ 第11回 公民権運動の高まり 第12回 ベトナム戦争とアメリカ 第13回 保守化するアメリカ 第14回 9.11以降のアメリカ、そしてオバマ政権の誕生 第15回 定期試験	
進め方	基本的には講義中心となるが、一方通行の授業にならぬよう配布プリントを使つての作業なども取り入れていく。		
テキスト	特に定めない。	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	出席:10% 課題提出と小テスト:20% 定期試験:70%		

英国論		通年 4 単位	2年
20世紀イギリス社会の変容 — エスニシティ、ジェンダー、階級を分析軸として		酒井 順子 (さかい じゅんこ)	
ねらい	20世紀以降のイギリス社会は、二つの世界大戦、帝国の解体、移民・難民の増加、EU統合などを経過して大きな変容を遂げてきた。かつてイギリスは、近代化や民主化のモデルとして、あるいは豊かな白人ミドルクラスの国として概観されたが、この授業ではエスニシティ、ジェンダー、階級の視点から20世紀以降のイギリス社会の変容を検討して		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション：イギリスとは 第2回 白人ミドルクラスのイギリス 第3回 帝国としてのイギリス 第4回 ポストコロニアルのイギリス 第5回 エスニシティの概念 第6回 イギリスのエスニックコミュニティ 第7回 エスニシティ・差別と偏見 第8回 エスニシティ：カリブ移民の歴史 第9回 エスニシティ：カリブ移民のライフストーリー 第10回 エスニシティ：世代間の葛藤—『ぼくの国とパパの国』 第11回 エスニシティ：9.11以降—映画『ヤスマン』 第12回 エスニシティ：移民間の差異—『ブラックオンブラック』 第13回 エスニシティ：難民問題 第14回 イギリスにおける多文化主義と統合 第15回 まとめ	【後期】 第1回 分析軸としてのエスニシティ、ジェンダー、階級 第2回 ジェンダー：20世紀初頭のフェミニズム 第3回 ジェンダー：第一次世界大戦と女性 第4回 ジェンダー：第二次世界大戦と女性 第5回 ジェンダー：第二波フェミニズムと女性の地位 第6回 ジェンダー：20世紀家族の変容 第7回 ジェンダー：多様化するセクシュアリティ 第8回 階級から見るイギリス：階級の定義 第9回 階級意識：『長距離ランナーの孤独』 第10回 階級意識：『ケス』と『リトルダンサー』 第11回 階級：アンダークラスと社会的排除 第12回 「階級の死」をめぐる議論 第13回 エスニシティ、ジェンダー、階級の交差点 第14回 私たちは「新たなイギリス像」を描けるか 第15回 まとめ	
進め方	ドキュメンタリー、映画、ライフストーリーなどを参照しながら、20世紀イギリス社会の変容を検討していく。前期は、日本における英国論の変遷を概観した後、エスニシティをめぐる諸問題を検討する。後期は、ジェンダーと階級の視点を中心に、20世紀以降のイギリス社会を検討していきながら今日のイギリス像を探る。		
テキスト	特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	コメント・小レポート:30% 前期末試験:30% 後期最終試験:40%		

米国論		通年 4 単位	2年
米国の人種問題をより良く理解する		日吉 和子 (ひよし かずこ)	
ねらい	昨年、バラク・オバマ氏が米国史上初のアフリカ系アメリカ人の大統領に就任しました。それ以降、彼の人種要因に起因すると思われる世論の反応やマスメディア報道が見られる時があります。それは、米国社会が依然として彼らに対する人種差別問題を抱えている証拠と言えます。この授業では、この問題を様々な資料を通して考えてゆきます。		
授業計画	【前期】 第1回 授業の進め方と内容についての説明 第2回 人種の視点から見た米国史についての概説 第3回 アフリカ系アメリカ人の歴史についての概説 (1) 第4回 アフリカ系アメリカ人の歴史についての概説 (2) 第5回 英文資料No. 1の日本語訳のグループ発表 第6回 引き続き資料No. 1の日本語訳のグループ発表 第7回 引き続き資料No. 1の日本語訳のグループ発表 第8回 資料No. 11についてのまとめ 第9回 英文資料No. 2の日本語訳のグループ発表 第10回 引き続き資料No. 2の日本語訳のグループ発表 第11回 引き続き資料No. 2の日本語訳のグループ発表 第12回 引き続き資料No. 2の日本語訳のグループ発表 第13回 資料No. 2についてのまとめ 第14回 前期総まとめ 第15回 試験	【後期】 第1回 英文資料No. 3の日本語訳グループ発表 第2回 引き続き資料No. 3の日本語訳のグループ発表 第3回 引き続き資料No. 3の日本語訳のグループ発表 第4回 引き続き資料No. 3の日本語訳のグループ発表 第5回 資料No. 3についてのまとめ 第6回 英文資料No. 4の日本語訳のグループ発表 第7回 引き続き資料No. 4の日本語訳のグループ発表 第8回 引き続き資料No. 4の日本語訳のグループ発表 第9回 資料No. 4についてのまとめ 第10回 英文資料No. 5の日本語訳のグループ発表 第11回 引き続き資料No. 5の日本語訳のグループ発表 第12回 引き続き資料No. 5の日本語訳のグループ発表 第13回 資料No. 5についてのまとめ 第14回 後期総まとめ 第15回 試験	
進め方	最初に、受講生を幾つかのグループに分けます。予め配布する英文資料の日本語訳をグループ単位で発表してもらい、その内容について全体で考えて行きます。その際、人種問題に関連する重要な歴史的事項や用語について詳しく解説をします。		
テキスト	英文資料のプリントを配布します。	参考文献	随時、必要と思われる時に指示します。
評価方法	試験 (2回) :80% 平常点 (出席含む) :20%		

英国思想		通年 4 単位	2年
イギリスの思想を手がかりに、現代社会を歴史的に考える		板井 広明 (いたい ひろあき)	
ねらい	議会制度が成熟し、ジェントルマンが活躍したイギリス社会。産業化に対しては、ロマン主義が対抗し、その拮抗から、政治・経済・文化・ファッションなどの領域で、さまざまな動きが生まれます。イギリスを歴史的に考察することは、現代社会を考察することにもつながるという視点を持ちつつ、イギリス的なものを明らかにしたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション～イギリス的なもの (1) 第2回 オリエンテーション～イギリス的なもの (2) 第3回 英国思想の伝統：古代ギリシャ・ローマ、キリスト教 第4回 中世から近代への社会の変容 第5回 エリザベス1世とヘンリー8世：英国国教会の成立 第6回 宗教戦争と名誉革命：ホップズとロック 第7回 王立協会とシェクスピア 第8回 デフォー：近代の資本主義 第9回 奢侈をめぐる：マンデヴィル 第10回 イギリス経験論の系譜：バークリーとヒューム 第11回 スコットランド啓蒙：スミス 第12回 ポリティカル・エコノミーとモラル・エコノミー 第13回 風景式庭園の誕生：イングランドなるもの 第14回 フランス革命の衝撃：パークとベイン 第15回 前期試験	【後期】 第1回 メディアと公共圏：新聞・雑誌の誕生 第2回 近代都市の諸相 第3回 フェミニズムの問題：ウルストンクラフト、モア 第4回 パノプティコンと改革の思想：ベンサム功利主義 第5回 オーウェンの協同社会：コミュニティーの思想 第6回 救貧法と人口論：マルサス 第7回 食品偽装とアーカム 第8回 ヴェンタリアンの誕生 第9回 功利主義とロマンティズム：J. S. ミル 第10回 ロマンティズム：コールリッジ、ワーズワース 第11回 ジェントルマンの世界：ダンディズム 第12回 博覧会と観相学：S. ホームズの世界 第13回 新たな芸術運動：ラスキン、モリス、ラファエル前派 第14回 ヴィクトリア時代の女性：クリノリンとコルセット 第15回 後期試験	
進め方	基本的にシラバスに即して講義形式で行なう。ただし、できるだけ画像や映像などを参考資料にして、受講者の理解を深めたい。またグループ毎のディスカッションも行ない、歴史に素材を求めつつも、現代的な問題について考えるようにしたい。		
テキスト	特に指定はなく、毎回レジュメを配布します。	参考文献	授業中に指示します。
評価方法	平常点:50% 試験:50%		

米国思想		通年 4 単位	2年
アメリカ的な“ものの見方”を考える		池田 孝一（いけだ こういち）	
ねらい	アメリカ人の原型と言われるアメリカ建国の父祖の一人であるベンジャミン・フランクリンの『自伝』、及び黒人運動の指導者の一人であったデュ・ボイスの『黒人のたましい』をキー・テキストにして、アメリカの思想を学ぶ。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクシヨソ 第2回 ビューリタニズム 第3回 啓蒙思想と理神論 第4回 『フランクリン自伝』(1) 第5回 『フランクリン自伝』(2) 第6回 『フランクリン自伝』(3) 第7回 『フランクリン自伝』(4) 第8回 アメリカの建国思想 第9回 コモン・マンの思想 第10回 シンプル・ライフの思想 第11回 アメリカの宗教：19世紀半ばまで 第12回 フロンティア精神 第13回 プラグマティズム 第14回 まとめと討議 第15回 前期試験	【後期】 第1回 アメリカにおける奴隷制度の背景 第2回 『黒人のたましい』(1) 第3回 同上(2) 第4回 同上(3) 第5回 同上(4) 第6回 アメリカの宗教：19世紀後半以降 第7回 社会進化論 第8回 反知性思想 第9回 女性の権利 第10回 ネイティブ・アメリカン(1) 第11回 ネイティブ・アメリカン(2) 第12回 自然・環境思想 第13回 現代アメリカの問題 第14回 まとめと討議 第15回 後期試験	
進め方	講義の形式で授業を進めるが、出席者は今年とりあげる二作品を熟読して出席すること。時折出席者の意見を求める。		
テキスト	『フランクリン自伝』（中公クラシックス）及び『黒人のたましい』（岩波文庫）	参考文献	毎回授業時に指示する。
評価方法	平常点:30% 試験（持込可）:70%		

比較文化		通年 4 単位	2年
岩倉使節団の米・英見聞記を読む		加納 孝代（かのう たかよ）	
ねらい	明治時代の日本人が記したアメリカとイギリスの旅行記の原文を、旅程に沿って読み、当時の日本人の目に映った、今から約140年前の米国と英国の姿を明らかにする。またその旅行記の文章の味読・精読を通じて、彼らが自分と異なる文化や社会をどのように受け止めたかを理解し、現在の私たちに必要とされる比較文化的視点を探る。		
授業計画	【前期】 第1回 岩倉使節団の世界旅行全体と、アメリカ見聞の概要 第2回 太平洋の船旅、合衆国総説、サンフランシスコの1 第3回 サンフランシスコの2。学校（小学校、大学）見学 第4回 アメリカ横断鉄道旅行の1。セラネヴァアタ山脈越え 第5回 アメリカ横断鉄道旅行の2。ユタとロッキー山脈 第6回 アメリカ横断鉄道旅行の3。シカゴからワシントンDCへ 第7回 ワシントンDCの1。共和国の精神。奴隷制度について 第8回 ワシントンDCの2。市内の各種政府機関見学 第9回 ニューヨークの1。セントラルパーク。マンハッタン 第10回 北部諸州見聞記の1。ウェストポイント、ナイアガラ 第11回 北部諸州見聞記の2。ボストン市内。太平楽会 第12回 ワシントンDCの3。合衆国南部諸州について 第13回 フィラデルフィア訪問。大統領制度の概要。工場見学 第14回 ニューヨークの2。米国経済の中心地。パイブル会社 第15回 ボストン近郊の木綿、羊毛紡織工場	【後期】 第1回 岩倉使節団のイギリス見聞の概要。イギリス総説 第2回 ロンドンの1。ケンジントンの万博と英国産業の発展 第3回 ロンドンの2。小学校見学。倫敦塔、水晶宮ほか 第4回 リヴァプールの1。ドック見学。進んだ港湾施設の役割 第5回 リヴァプールの2。造船所、機関車・レール工場 第6回 マンチェスターの1。板ガラス、木綿紡織工場 第7回 マンチェスターの2。禁酒団体。商工会議所。裁判所 第8回 グラスゴー市内の商業施設。フランタイル邸 第9回 エディンバラ市内見学。ロスリン教会。ベルロック灯台 第10回 スコットランドのハイランド紀行の1。ピトロクリ村 第11回 スコットランドのハイランド紀行の2。トロザック地方 第12回 ブラドフォード。社会福祉モデル都市ソルテア 第13回 シェフィールドの製鉄工場 第14回 パーミンガムと陶磁器のチェスター 第15回 ロンドンの3。イギリス視察の総括	
進め方	テキスト『米欧回覧実記』の第1巻「アメリカ編」と第2巻「イギリス編」を、原文に即して読んでいく。紀行内容については要約を用意するが、毎回原文の重要箇所の音読を行なうので、テキストは必ず持参のこと。関連する資料（地図・写真・文献）を毎回参照する。毎授業時の終りに、200字程度のコメントを提出してもらう。		
テキスト	久米邦武『米欧回覧実記』第1巻、第2巻（岩波文庫）。（4月時点で2冊とも同時に買っておくように）	参考文献	『特命全權大使「米欧回覧実記」銅版画集』（久米美術館）、『久米邦武文書』1～4（吉川弘文館）、『久米博士九十年回顧録』上・下（宗高書房）
評価方法	授業中のコメント:60% 前・後期のレポート:40%		

人種問題		通年 4 単位	2年
多文化主義アメリカをさぐる		君塚 淳一 (きみづか じゅんいち)	
ねらい	主にアメリカにおける人種問題を中心に、時代背景・政治・経済・芸術・宗教など様々な分野から捉え、異文化理解・コミュニケーション・文学/文化研究などをする上での基礎知識およびその考え方を養う。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 オリエンテーション (多文化主義アメリカと人種問題) 第2回 差別と偏見を考える (1) 第3回 差別と偏見を考える (2) 第4回 差別と偏見を考える (3) 第5回 映像、記事などによる分析と討論 (差別・偏見について) 第6回 アメリカの多民族と多文化主義 (概説) 第7回 アフリカ系アメリカ人 (1) 第8回 アフリカ系アメリカ人 (2) 第9回 アフリカ系アメリカ人 (3) 第10回 映像、記事の分析と討論 (アフリカ系アメリカ人について) 第11回 ユダヤ系アメリカ人 (含むヨーロッパのユダヤ人) (1) 第12回 ユダヤ系アメリカ人 (含むヨーロッパのユダヤ人) (2) 第13回 ユダヤ系アメリカ人 (含むヨーロッパのユダヤ人) (3) 第14回 映像、記事の分析と討論 (ユダヤ系アメリカ人について) 第15回 前期のまとめ、課題などについての説明	<p>【後期】</p> 第1回 課題についてのコメント、映像、記事の分析と討論 第2回 日系アメリカ人 (1) 第3回 日系アメリカ人 (2) 第4回 日系アメリカ人 (3) 第5回 映像、記事の分析と討論 (日系アメリカ人について) 第6回 先住民が抱える問題について (概説) 第7回 アメリカ先住民 (1) 第8回 アメリカ先住民 (2) 第9回 アメリカ先住民 (3) 第10回 映像、記事の分析と討論 (アメリカ先住民について) 第11回 アメリカその他の少数民族とアメリカの課題 (1) 第12回 アメリカその他の少数民族とアメリカの課題 (2) 第13回 改めてアメリカ、その多民族と多文化主義を考える (1) 第14回 改めてアメリカ、その多民族と多文化主義を考える (2) 第15回 前期・後期の総復習、後期試験などについての説明	
進め方	アフリカ系アメリカ人、ユダヤ系アメリカ人、アメリカ先住民、日系アメリカ人ほか、多民族・多文化で構成されるアメリカを、活字資料、映像資料などを中心に考える。同時に何が偏見や差別を生むのか、ステレオタイプ化された表現、描写に惑わされることなくどうすれば真実が見れるかも共に考えたい。		
テキスト	『アメリカ映像文学に見る少数民族』 (大阪教育図書)	参考文献	授業中にその都度、指示をする。
評価方法	出席:20% レポート:30% 試験:50%		

文学基礎演習 I		前期 2 単位	1年
テカーナ (メキシコ系アメリカ人女性) の少女が語る〈自分探し〉の物語		齋藤 修三 (さいとう しゅうぞう)	
ねらい	受験英語を卒業したい学生諸君に、原文で文学を読むスリリングな魅力を味わってほしい。思春期の少女がシカゴのスラム街で育ちながら「本当の自分」と出会い、居場所を見つけるまでの軌跡を追うことで、民族・階級・ジェンダーをめぐって差別や抑圧をもたらす「見えない境界線/ボーダー」が縦横にはりめぐらされた多文化社会アメリカの実情に迫		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イン트로～AV資料 第2回 テキスト講読 第3回 テキスト講読 第4回 テキスト講読 第5回 テキスト講読 第6回 テキスト講読 第7回 テキスト講読～中間レポート説明 第8回 中間レポート締め切り～小まとめ 第9回 テキスト講読 第10回 テキスト講読 第11回 テキスト講読 第12回 テキスト講読 第13回 テキスト講読 第14回 テキスト講読～期末レポート説明 第15回 期末レポート締め切り～まとめ		
進め方	今後ますますボーダーレス化が進み、多文化化する日本社会において、ぼくたちはどのような姿勢で他者と向き合うべきなのか? 他人事ではなく、このような当事者意識を、テキスト読解や解釈、自由な質疑応答とディスカッションを通じてながら磨いてゆく。		
テキスト	Sandra Cisneros, <i>The House on Mango Street</i> , New York: Vintage Books, 1989	参考文献	大泉・牛島共編『アメリカのヒスパニック＝ラティーノ社会を知るための55章』明石書店、シスネロス『マンゴー通り、ときどきさよなら』晶文社
評価方法	レポート2本:60% 出席・議論への参加度:30% メールレポート:10%		

文学基礎演習Ⅰ		前期 2 単位	1年
Enjoy Shakespeare!		松村 伸一 (まつむら しんいち)	
ねらい	翻訳でかまわないからシェイクスピアの作品を読んでみよう。そして自分なりに発見したその面白さを、他の人と分かち合ってみようというわけで、翻訳・映像・原文(一部)を通してシェイクスピア作品に接し、楽しんでいただきたい。また、発表の準備を通して、作品内容をハンドアウトにまとめる作業などにも、習熟してほしい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクッション：担当作品割り当てアンケート 第2回 エリザベス朝演劇の背景：担当作品決定 第3回 『タイタス・アンドロニカス』：発表見本 第4回 『リチャード三世』 第5回 『ロミオとジュリエット』 第6回 『夏の夜の夢』 第7回 『ヴェニス商人』 第8回 『から騒ぎ』 第9回 『恋の骨折り損』 第10回 『ハムレット』 第11回 『十二夜』 第12回 『オセロー』 第13回 『マクベス』 第14回 『あらし(テンペスト)』 第15回 まとめ		
進め方	学生による発表が中心。3人程度のグループで、作品のあらすじ・登場人物の関係図・名セリフの紹介(与えられた原文の解釈)・ハイライトシーンのビデオ鑑賞(映像は原作をどう解釈しているか)、などを一時間程度にまとめて発表してもらう。最後に簡単な意見交換と補足説明を行なう。		
テキスト	各自で用意すること。最低限、自分の担当作品は購入してほしい。(1)ちくま文庫、(2)白水Uブックス、(3)新潮その他の文庫版という順序でお勧め	参考文献	河合祥一郎『シェイクスピアは誘う』(小学館)、狩野良規『映画になったシェイクスピア』(三修社)、戸所宏之『はじめてのシェイクスピア』(PHP)
評価方法	出席:15% 発表:15% レポート:70%		

文学基礎演習Ⅱ		後期 2 単位	1年
60年代ポピュラー音楽に見る文化の詩学・政治学入門		齋藤 修三 (さいとう しゅうぞう)	
ねらい	受験英語を卒業したい学生諸君に、英語で文学を読むスリリングな魅力を味わってほしい。英語詩に慣れ親しむきっかけとして、ポピュラー音楽の歌詞を題材としながら、アメリカ1960年代の若者たちが推し進めた「対抗文化/カウンター・カルチャー」の息吹に触れる。		
授業計画	【後期】 第1回 イントロ〜ベトナム戦争 第2回 ベトナム反戦の歌 第3回 同上 第4回 同上 第5回 アメリカン・ドリーム/欲望消費社会 第6回 同上 第7回 同上~中間レポート説明 第8回 中間レポート締め切り~若者vs大人社会 第9回 若者vs大人社会 第10回 貧困と差別 第11回 同上 第12回 対抗文化の光と影 第13回 同上 第14回 同上~期末レポート説明 第15回 期末レポート締め切り~まとめ		
進め方	予習は、歌詞の意味・解釈を辞書等を使って準備したり、質問に対する考えを準備する。講義・リポーターによる発表・ディスカッション・AV鑑賞などが中心となる。		
テキスト	プリント	参考文献	随時紹介
評価方法	レポート2本:60% リポーター回数:20% 出席・議論への参加度:10% メールレポート:10%		

文学基礎演習Ⅱ		後期 2 単位	1年
翻訳の愉しみ―読解・解釈・表現―		松村 伸一（まつむら しんいち）	
ねらい	英文和訳という効率の悪い学習法として槍玉に挙げられることが多いが、翻訳とは、外国文学研究の重要な要素であるし、苦勞は多いがやりがいのある作業でもある。この授業では、詩と短編小説を題材に、毎回指定された一定量の英文を翻訳し、訂正する訓練を積むことで、原文理解力と日本語表現力の総合としての《翻訳能力》を高めることを目指す。		
授業計画	【後期】 第1回 オリエンテーション：コンピュータ利用方法の確認など 第2回 課題1：Tim Burton, "Anchor Baby" 第3回 課題2：Ursula K. Le Guin, "The Wife's Story" (1) 第4回 課題3：Ursula K. Le Guin, "The Wife's Story" (2) 第5回 課題4：Ursula K. Le Guin, "The Wife's Story" (3) 第6回 課題5：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (1) 第7回 課題6：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (2) 第8回 課題7：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (3) 第9回 課題8：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (4) 第10回 課題9：Jean Rhys, "Mannequin" (1) 第11回 課題10：Jean Rhys, "Mannequin" (2) 第12回 課題11：Jean Rhys, "Mannequin" (3) 第13回 課題12：Jean Rhys, "Mannequin" (4) 第14回 最終課題の作成方法について 第15回 課題発表と相互評価		
進め方	電子掲示板システムを利用して、毎回250語程度の英文の訳文を予め提出してもらおう。授業時間の前半には、ウェブ上の解説や他の学生の訳文を参考に、各自、自分の訳文を修正・推敲。後半には、次回指定箇所までの物語展開を口頭で解説する。空き時間に短大情報処理室を利用できることが必須。自宅からインターネットに接続可能であることが望まし		
テキスト	翻訳課題となる詩1篇と現代英米女性作家の短編小説3作品を、プリントで配布する。	参考文献	柴田元幸『翻訳教室』、深町眞理子『翻訳者の仕事部屋』、『ユリイカ2005年1月号』（特集：翻訳作法）、ほか。
評価方法	出席：15% 課題提出状況：45% 期末課題：35% 最終課題相互評価：5%		

総合英語基礎Ⅰ		前期 1 単位	1年
英語基礎講座 [発音・リスニング中心]		猪熊 作巳（いのくま さくみ）	
ねらい	英語の音声を聞き取るために、また英語らしい発音を身に付けるために必要となる音声特徴と音声変化を、英語のポップスを題材にして訓練していく。授業の大半は音声の聞き分けや書き取りを行うが、並行して語彙の増強にも取り組んでもらう予定である。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 第1章：音の連結1 第3回 第2章：音の脱落1 第4回 第3章：音の同化1 第5回 第4章：音の脱落2 第6回 第5章：音の脱落3 第7回 第6章：短縮形の音1 第8回 【中間試験】 第9回 第7章：音声変化の複合 第10回 第8章：音の脱落4 第11回 第9章：注意すべき母音 第12回 第10章：音の弱化 第13回 第11章：短縮形の音2 第14回 第12章：音の連結2 第15回 【期末試験】		
進め方	原則的に、テキストの章立てにしたがって毎回1章ずつ進めていく。授業時間の大半は音声の聞き分けや書き取りに取り組む予定。またこれと並行して、語彙力の向上を目指して毎回の授業の最初に単語テストを行う。詳細については初回授業で説明する。		
テキスト	Teruhiko Kadoyama & Simon Capper. <i>English with Hit Songs</i> . revised edition. Seibido. 2004. その他プリント使用。	参考文献	適宜指示する。
評価方法	出席：20% 試験：50% 課題・小テストなど：30%		

総合英語基礎Ⅰ		前期 1 単位	1年
英文理解の基礎（第一段）		加納 孝代（かのう たかよ）	
ねらい	英文の内容を正確に理解するために、主語と述語に注目した文構造の解明からスタートする。基本的な文法事項を復習しながら進める。耳で聞いた英文をそのまま理解できるリスニング力の養成も目指す。		
授業計画	【前期】 第1回 Unit 0 英語の学びの出発点 第2回 Unit 1 品詞 第3回 Unit 2 文の種類（肯定・否定・疑問・命令・感嘆） 第4回 Unit 3 時制・進行形 第5回 Unit 4 基本の5文型 第6回 Unit 5 第5文型のさまざまな文 第7回 Unit 6 主語と動詞の一致 第8回 Unit 7 前置詞 第9回 Unit 8 文接続詞 第10回 Unit 9 従属節 第11回 Unit 10 現在完了 第12回 Unit 11 過去完了と未来完了 第13回 Unit 12 受け身形 第14回 応用練習 第15回 応用練習		
進め方	音読と筆写を伴う教科書の予習は必須。教室では教科書以外に小説の一部や、詩、歌、劇の台詞などの資料を適宜用いて、応用力をつける。前回分復習の小テストを毎授業時冒頭に行うので、遅刻しないように努力すること。		
テキスト	藤田直也：「クラスで読む英文法」（朝日出版社）	参考文献	随時指示
評価方法	毎授業時の小テスト:60% 期末試験:40%		

総合英語基礎Ⅱ		後期 1 単位	1年
英語基礎講座 [文法・語彙中心]		猪熊 作巳（いのくま さくみ）	
ねらい	英語の基本的な文法事項を網羅的に把握することで文構造への意識を高め、その上で数多くの文法問題に取り組むことで英語を読み・書くための知識を定着させる。また、毎回行う単語テストを通して語彙力のアップにも努める。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 品詞と文の成分 第3回 名詞と代名詞 第4回 動詞と基本時制 第5回 助動詞と文の種類 第6回 完了と受動 第7回 形容詞と副詞 第8回 比較 第9回 【中間試験】 第10回 準動詞（1） 第11回 準動詞（2） 第12回 関係詞（1） 第13回 関係詞（2） 第14回 話法 第15回 【期末試験】		
進め方	各回で平均2章分の文法事項を取り扱う予定なので、指定された範囲をしっかりと予習した上で授業に出席することが大前提となる。またこれと並行して単語テストを毎回行う（詳細は初回授業で説明する）。		
テキスト	Kenichi Kadooka & Simon Rosati. <i>Fundamental Grammar and Vocabulary</i> . Seibido. 2007.	参考文献	適宜紹介する。
評価方法	出席:20% 試験:50% 課題・小テストなど:30%		

総合英語基礎Ⅱ		後期 1 単位	1年
英文理解の基礎（第二段）		加納 孝代（かのう たかよ）	
ねらい	英文の内容を正確に理解するために、中級の文法事項を復習しながら種々の文を読む練習をする。相手に意味内容が伝えられるような読み方・話し方の力の養成も目指す。		
授業計画	【後期】 第1回 Unit 13 使役形 第2回 Unit 14 知覚動詞 第3回 Unit 15 法助動詞 第4回 Unit 16 仮定法 第5回 Unit 17 関係節 第6回 Unit 18 関係副詞 第7回 Unit 19 分詞修飾 第8回 Unit 20 分詞構文 第9回 Unit 21 冠詞 第10回 Unit 22 不定詞 第11回 Unit 23 形式主語 第12回 Unit 24 比較級・最上級 第13回 応用練習 第14回 応用練習 第15回 まとめ		
進め方	音読と筆写を伴う、教科書の予習は必須。教室では教科書以外にさまざまな種類の英文を適宜用いて、応用練習をする。前回分復習の小テストを毎授業冒頭に行うので、遅刻しないように努力すること。		
テキスト	藤田直也：「クラスで読む英文法」（朝日出版社）	参考文献	随時指示
評価方法	毎授業時の小テスト:60% 期末試験:40%		

総合英語		前期 2 単位	1・2年
		フィリップス（PHILLIPS, J.R.）	
ねらい	This course will use the seven-part TOEIC format to introduce strategies that will help students improve their comprehension of spoken and written English. At the same time, students who make effort can expect a significant improvement in their TOEIC scores.		
授業計画	【前期】 第1回 Course Introduction - TOEIC Part 1 Pictures 第2回 Part 1 Pictures - Part 2 Question and Response 第3回 Part 2 Question and Response - Part 3 Conversations 第4回 Part 3 Conversations - Part 4 Short Talks 第5回 Part 4 Short Talks 第6回 TOEIC Listening Summary and TOEIC Listening Quiz 第7回 Quiz Feedback and Listening Review 第8回 TOEIC Reading - Part 5 Incomplete Sentences 第9回 Part 5 Incomplete Sentences - Part 6 Text Completion 第10回 Part 6 Text Completion -Part 7 Reading Comprehension 第11回 Part 7 Reading Comprehension 第12回 TOEIC Reading Summary and TOEIC Reading Quiz 第13回 Quiz Feedback and Reading Review		
進め方	This course will use the TOEIC test as a tool for building general English communication skills. The course will focus on building skills and strategies that will not only improve TOEIC scores, but also improve overall English listening and reading comprehension.		
テキスト	Handouts	参考文献	
評価方法	Quizzes:50% Attendance and participation:50%		

総合英語		後期 2 単位	1・2年
		フィリップス (PHILLIPS, J. R.)	
ねらい	This course will use the seven-part TOEIC format to introduce strategies that will help students improve their comprehension of spoken and written English. At the same time, students who make effort can expect a significant improvement in their TOEIC scores.		
授業計画	<p>【後期】</p> 第1回 Course Introduction - TOEIC Part 1 Pictures 第2回 Part 1 Pictures - Part 2 Question and Response 第3回 Part 2 Question and Response - Part 3 Conversations 第4回 Part 3 Conversations - Part 4 Short Talks 第5回 Part 4 Short Talks 第6回 TOEIC Listening Summary and TOEIC Listening Quiz 第7回 Quiz Feedback and Listening Review 第8回 TOEIC Reading - Part 5 Incomplete Sentences 第9回 Part 5 Incomplete Sentences - Part 6 Text Completion 第10回 Part 6 Text Completion -Part 7 Reading Comprehension 第11回 Part 7 Reading Comprehension 第12回 TOEIC Reading Summary and TOEIC Reading Quiz 第13回 Quiz Feedback and Reading Review 第14回 Using TOEIC as part of a long term learning strategy		
進め方	This course will use the TOEIC test as a tool for building general English communication skills. The course will focus on building skills and strategies that will not only improve TOEIC scores, but also improve overall English listening and reading comprehension.		
テキスト	Handouts	参考文献	
評価方法	Quizzes:50% Attendance and participation:50%		

総合英語		前期 2 単位	1・2年
TOEICリーディングを解くスキル		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	出題タイプごとにTOEICリーディングを「解くスキル」を学び、同時に英語の読解力を身に付けます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンスとTOEICの概要 第2回 TOEICリーディング小模擬試験(1) 第3回 同じような意味を持つ名詞、同じような意味を持つ動詞 第4回 語形、時制 第5回 修飾語句、前置詞 第6回 代名詞、接続詞 第7回 名詞を問う問題、動詞を問う問題 第8回 時間を問う問題、人物を問う問題 第9回 WH疑問文、質問の3タイプ 第10回 全体を問う問題、詳細を問う問題 第11回 推測して答える問題、同じような意味を持つ語 第12回 二つの文章を読む問題(1)(2) 第13回 追加の読解問題(内容未定) 第14回 TOEICリーディング小模擬試験(2) 第15回 期末試験		
進め方	第2回にTOEICリーディング小模擬試験を行う。第3回以降は出題タイプごとの問題文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をして練習問題を解いていきます。第14回に再びTOEIC小模擬試験を行い、解き方が変わったことを確認。毎回の授業で練習問題を中心にミニテストを行います。		
テキスト	Vital Skills for the TOEIC Test: Reading	参考文献	“Instant Vocabulary” 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

総合英語		後期 2 単位	1・2年
TOEICリーディングを解くスキル		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	出題タイプごとにTOEICリーディングを「解くスキル」を学び、同時に英語の読解力を身に付けます。		
授業計画	<p>【後期】</p> <p>第1回 ガイダンスとTOEICの概要</p> <p>第2回 TOEICリーディング小模擬試験(1)</p> <p>第3回 同じような意味を持つ名詞、同じような意味を持つ動詞</p> <p>第4回 語形、時制</p> <p>第5回 修飾語句、前置詞</p> <p>第6回 代名詞、接続詞</p> <p>第7回 名詞を問う問題、動詞を問う問題</p> <p>第8回 時間を問う問題、人物を問う問題</p> <p>第9回 WH疑問文、質問の3タイプ</p> <p>第10回 全体を問う問題、詳細を問う問題</p> <p>第11回 推測して答える問題、同じような意味を持つ語</p> <p>第12回 二つの文章を読む問題(1)(2)</p> <p>第13回 追加の読解問題(内容未定)</p> <p>第14回 TOEICリーディング小模擬試験(2)</p> <p>第15回 期末試験</p>		
進め方	第2回にTOEICリーディング小模擬試験を行う。第3回以降は出題タイプごとの問題文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をして練習問題を解いていきます。第14回に再びTOEIC小模擬試験を行い、解き方が変わったことを確認。毎回の授業で練習問題を中心にミニテストを行います。		
テキスト	Vital Skills for the TOEIC Test: Reading	参考文献	“Instant Vocabulary” 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

実務英語		通年 4 単位	2年
ビジネス英語入門		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	ビジネスの様々な局面に英語で対応できるようになることを目指します。		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 手紙</p> <p>第3回 ファックス</p> <p>第4回 電子メール</p> <p>第5回 電話</p> <p>第6回 面会の申し入れ</p> <p>第7回 ホテルの予約</p> <p>第8回 オフィスの移転通知、支店の開設案内</p> <p>第9回 レセプションへの招待</p> <p>第10回 アンケートの回答依頼</p> <p>第11回 資料の送付依頼</p> <p>第12回 慶弔</p> <p>第13回 会議の通知</p> <p>第14回 議事録</p> <p>第15回 前期試験</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 物品の購入</p> <p>第2回 社内研修の案内、社外研修の報告</p> <p>第3回 日程の中間報告</p> <p>第4回 引合い(1)</p> <p>第5回 引合い(2)</p> <p>第6回 注文</p> <p>第7回 注文(続き)</p> <p>第8回 代金の回収</p> <p>第9回 クレームと調整</p> <p>第10回 履歴書</p> <p>第11回 応募の手紙</p> <p>第12回 推薦状、面接</p> <p>第13回 面接結果の通知</p> <p>第14回 退職願</p> <p>第15回 後期試験</p>	
進め方	ビジネス文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をして練習問題を解いていきます。英語を通してビジネスの世界を知ることによってビジネス英語の基礎力を身に付けます。毎回の授業でポキャブラリーを中心にミニテストを行います。		
テキスト	Essentials of Global Business English	参考文献	“Instant Vocabulary” 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 定期試験:50%		

時事英語		通年 4 単位	1・2年
時事英語入門		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	様々な分野の英語ニュースが読解できるようになることを目指します。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 眠っているような米国の田舎町、英語教育の中心に变身 第3回 血液型で性格が決まるのか？ 第4回 若田宇宙飛行士、日本人初の長期滞在へ 第5回 米大統領一家はアメリカ社会の縮図 第6回 保護者へのお知らせ：子育てには「しつけ」が大事 第7回 漢字に悪戦苦闘するインドネシア人介護士たち 第8回 アラブ女性、空の上で職と自由を得る 第9回 日本の2作品、アカデミー賞受賞 第10回 中国司法当局、ネットでの人身攻撃に対し規制強化 第11回 2頭のロバを連れて移動図書館 第12回 ダーウィン生誕200年 第13回 完全崩壊したソマリア 第14回 待ジャパン、WB C連覇 第15回 前期試験	【後期】 第1回 靴投げつけ男、アラブ世界で「反米」の象徴に 第2回 ボスニアの平和、民族対立で風前のともしび 第3回 アイスランドで女性先導始まる 第4回 NY中心部貧困地区の学校、必修外国語は日本語 第5回 ロシアで孤児たちの避難村 第6回 アルゼンチンで若者向けサバカルチャー大人気 第7回 スコットランドの素人歌手、ネットで大騒ぎに 第8回 ノーベル物理学賞、日本人3人同時受賞 第9回 日陰で咲く中国流ヒップホップ 第10回 フランス、カフェの消滅とライフスタイルの変化 第11回 十代の日本人ゴルファーに熱狂 第12回 英字新聞から (記事未定) 第13回 英字新聞から (記事未定) 第14回 英字新聞から (記事未定) 第15回 後期試験	
進め方	ニュース文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をしていきます。ニュースの内容を楽しみながら量をこなして読解の基礎力を身に付けます。毎回の授業でポキャラリーを中心にミニテストを行います。		
テキスト	English through the News Media	参考文献	“Instant Vocabulary” 「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席・授業参加度:20% 平常ミニテスト:30% 定期試験:50%		

時事英語		通年 4 単位	1・2年
新聞英語の入門講座		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	英字新聞の記事のうち、日本で直前に起こった、または今起きている最新の出来事を扱っている記事を教材とし、記事の種類、記事の構成、見出し・書き出し・本文の特徴など、英字新聞についての基本的な事柄を学びます。また、各々の記事に関する歴史・社会・文化的背景についても考えます。TOEICのReading部門の対策にもなるでしょう。		
授業計画	【前期】 第1回 前期分のガイダンス 第2回 英字新聞の特徴(1) 第3回 英字新聞の特徴(2) 第4回 新聞記事の構成(1) 第5回 新聞記事の構成(2) 第6回 見出しの特徴：現在形の用法 第7回 見出しの特徴：動詞の省略 第8回 見出しの特徴：冠詞の省略 第9回 見出しの特徴：to不定詞の用法 第10回 見出しの特徴：現在・過去分詞の用法 第11回 見出しの特徴：句読点の用法 第12回 見出しの特徴：省略語の多用 第13回 見出しの特徴：短い語の多用 第14回 前期分のまとめ 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 後期分のガイダンス 第2回 新聞英語の特徴：ハイフンの多用 第3回 新聞英語の特徴：複合語の多用 第4回 新聞英語の特徴：略語・縮語の多用 第5回 新聞英語の特徴：同格表現の多用 第6回 新聞英語の特徴：that節の多用 第7回 新聞英語の特徴：無生物主語の多用 第8回 新聞英語の特徴：所有格の多用 第9回 新聞英語の特徴：分詞構文の多用 第10回 新聞英語の特徴：前置詞の省略 第11回 新聞英語の特徴：能動態の多用 第12回 新聞英語の特徴：動名詞の多用 第13回 新聞英語の特徴：文修飾副詞の多用 第14回 後期分のまとめ 第15回 後期定期試験	
進め方	日本の最新の出来事を扱っている、政治・経済・社会・文化・芸能・スポーツなど様々な種類の記事を教材としますので、毎回、次週分のプリントを配布して予習をしてきてもらい、「授業計画」に示されている各回のテーマを中心しつつ、記事全体の内容についても細かくみていきたいと思います。		
テキスト	特には使用しません。	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:10% 前期レポート:10% 後期定期試験:50%		

英文情報処理		前期 2 単位	1・2年
コンピュータ・リテラシー		飯田 千代 (いいた ちよ)	
ねらい	コンピュータは通信技術の進歩によって、私達の生活に大きな影響を与えている。本講座は、講義とパーソナル・コンピュータを使っての実習を通して、情報処理の基礎的な知識と技術を習得するとともに、科学技術の進歩に必ずつきまとう“光と影”についての理解を目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、利用者登録等実習環境準備 第2回 講義：コンピュータの基礎知識 第3回 コンピュータの基本操作 第4回 ワープロ実習（1）文字入力の基本、文章の編集 第5回 インターネット実習（1） 第6回 インターネット実習（2） 第7回 ワープロ実習（2）文字飾り 第8回 ワープロ実習（3）課題演習 第9回 ワープロ実習（4）課題演習 第10回 ワープロ実習（5）罫線処理 第11回 ワープロ実習（6）課題演習 第12回 画像処理 第13回 ワープロ実習（7）画像の貼り付け 第14回 パワーポイント実習 第15回 課題演習		
進め方	コンピュータの基礎知識に関して講義した後実習に入る。実習では解説に従って実際に操作し、まとめの課題演習をとおして技術を身につける。		
テキスト	情報処理講義（宮田雅智・宮治裕著 同文書院）	参考文献	随時紹介する。
評価方法	実習課題：80% 出席：20%		

英文情報処理		後期 2 単位	1・2年
コンピュータ・リテラシー		飯田 千代 (いいた ちよ)	
ねらい	コンピュータは通信技術の進歩によって、私達の生活に大きな影響を与えている。本講座は、講義とパーソナル・コンピュータを使っての実習を通して、情報処理の基礎的な知識と技術を習得するとともに、科学技術の進歩に必ずつきまとう“光と影”についての理解を目的とする。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス、利用者登録等実習環境準備 第2回 講義：コンピュータの基礎知識 第3回 コンピュータの基本操作 第4回 ワープロ実習（1）文字入力の基本、文章の編集 第5回 インターネット実習（1） 第6回 インターネット実習（2） 第7回 ワープロ実習（2）文字飾り 第8回 ワープロ実習（3）課題演習 第9回 ワープロ実習（4）課題演習 第10回 ワープロ実習（5）罫線処理 第11回 ワープロ実習（6）課題演習 第12回 画像処理 第13回 ワープロ実習（7）画像の貼り付け 第14回 パワーポイント実習 第15回 課題演習		
進め方	コンピュータの基礎知識に関して講義した後実習に入る。実習では解説に従って実際に操作し、まとめの課題演習をとおして技術を身につける。		
テキスト	情報処理講義（宮田雅智・宮治裕著 同文書院）	参考文献	随時紹介する。
評価方法	実習課題：80% 出席：20%		

英文情報処理		前期 2 単位	1・2年
英語を学ぶ人の情報処理入門		齋藤 真弓 (さいとう まゆみ)	
ねらい	英語を学ぶ人達にとって、コンピュータは英文ワープロ、電子メールの利用、インターネットによる情報検索・収集など限りなく利用価値がある。本講座は英文文書作成に關しての知識を学び、Wordを使って英文文書の作成方法を実習する。また英文のタッチタイピングを学ぶこともできる。Word以外に、PowerPoint、Excelの実習も行う。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 コンピュータ基礎1 学内外からの利用・メールの利用 第2回 コンピュータ基礎2 ファイル操作 Touch Typing練習 第3回 英文の入力(短文) 記号・符号の知識 第4回 英文の入力(長文) Paragraph 行間隔 テスト 第5回 英文書類の作成・編集 第6回 インターネット・情報検索 第7回 英文の校正記号 表の作成 図の利用 第8回 テンプレートの利用 社内メモの作成 第9回 英文ビジネスレターの知識1 Business Letter Format 第10回 英文ビジネスレターの知識2 Personal Business Letter 第11回 PowerPoint(1)基礎 第12回 PowerPoint(2)アニメーション効果 第13回 Excel(1)関数やグラフ 第14回 Excel(2)関数の利用 第15回 Excel(3)まとめ テスト		
進め方	講義・解説に従い実際にパソコン操作し、課題を仕上げることにより、技術を確実に身につけると同時に、コンピュータ利用に關する総合的な知識が身につくよう指導する。 キーボードを見ないで入力する方法(タッチタイピング)実習は小テストを行いながら、効率よく進めていく。		
テキスト	『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』(同友館)	参考文献	『ウェブスター ビジネス英語事典』(研究社出版)
評価方法	実習課題:50% テスト:30% 平常点:20%		

英文情報処理		後期 2 単位	1・2年
英語を学ぶ人の情報処理入門		齋藤 真弓 (さいとう まゆみ)	
ねらい	英語を学ぶ人達にとって、コンピュータは英文ワープロ、電子メールの利用、インターネットによる情報検索・収集など限りなく利用価値がある。本講座は英文文書作成に關しての知識を学び、Wordを使って英文文書の作成方法を実習する。また英文のタッチタイピングを学ぶこともできる。Word以外に、PowerPoint、Excelの実習も行う。		
授業計画	<p>【後期】</p> 第1回 コンピュータ基礎1 第2回 コンピュータ基礎2 ファイル操作 Touch Typing練習 第3回 英文の入力(短文) 第4回 英文の入力(長文) 第5回 英文書類の作成・編集 第6回 インターネット・情報検索 第7回 英文の校正記号 第8回 テンプレートの利用 第9回 英文ビジネスレターの知識1 Business Letter Format 第10回 英文ビジネスレターの知識2 Personal Business Letter 第11回 PowerPoint(1)基礎 第12回 PowerPoint(2)アニメーション効果 第13回 Excel(1)関数やグラフ 第14回 Excel(2)関数の利用 第15回 Excel(3)まとめ		
進め方	講義・解説に従い実際にパソコン操作し、課題を仕上げることにより、技術を確実に身につけると同時に、コンピュータ利用に關する総合的な知識が身につくよう指導する。 キーボードを見ないで入力する方法(タッチタイピング)実習は小テストを行いながら、効率よく進めていく。		
テキスト	『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』(同友館)	参考文献	『ウェブスター ビジネス英語事典』(研究社出版)
評価方法	実習課題:50% テスト:30% 平常点:20%		